

### 資金収支計算書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位:円)

科目	会計区分	収益事業等会計				法人会計	内部取引 消去	合計
		公益目的 事業会計	施設の 貸与等事業	販売手数料及 び出展広告料 に関する事業	福利厚生等 に関する事業			
<b>I 事業活動収支の部</b>								
<b>1. 事業活動収入</b>								
(1)特定資産運用収入	[300,251]	[483]	[517]	[1,449]	[2,449]	[52,534]	[△ 0]	[355,234]
特定資産利息収入	300,251	483	517	1,449	2,449	52,534		355,234
(2)入会金収入	[16,902,000]	[0]	[0]	[0]	[0]	[16,902,000]	[△ 0]	[33,804,000]
入会金収入	16,902,000	0	0	0	0	16,902,000		33,804,000
(3)会費収入	[78,129,000]	[0]	[0]	[0]	[0]	[78,129,000]	[△ 0]	[156,258,000]
正会員会費収入	78,129,000	0	0	0	0	78,129,000		156,258,000
(4)事業収入	[168,443,142]	[480,000]	[4,681,284]	[101,730]	[5,263,014]	[0]	[△ 0]	[173,706,156]
研修会参加料収入	62,193,288	0	0	0	0	0		62,193,288
看護職員の資質向上研修事業受託料収入	10,226,705	0	0	0	0	0		10,226,705
ナースセンター事業受託料収入	25,710,000	0	0	0	0	0		25,710,000
ナースセンター会館管理受託料収入	5,840,000	0	0	0	0	0		5,840,000
訪問看護推進事業受託料収入	5,000,000	0	0	0	0	0		5,000,000
小児救急電話相談事業受託料収入	895,060	0	0	0	0	0		895,060
日本看護協会受託料収入	1,178,500	0	3,880,694	0	3,880,694	0		5,059,194
訪問看護療養費収入	42,604,467	0	0	0	0	0		42,604,467
基本利用料収入	2,708,739	0	0	0	0	0		2,708,739
その他の利用料収入	1,125,515	0	0	0	0	0		1,125,515
治療収入	946,000	0	0	0	0	0		946,000
居宅介護支援事業収入	5,475,884	0	0	0	0	0		5,475,884
助産師出向支援導入事業受託料収入	2,102,000	0	0	0	0	0		2,102,000
手数料収入	1,661,624	0	800,590	101,730	902,320	0		2,563,944
雑収入	775,360	480,000	0	0	480,000	0		1,255,360
(5)補助金等収入	[9,385,630]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[△ 0]	[9,385,630]
日本看護協会助成金収入	9,385,630	0	0	0	0	0		9,385,630
(6)寄付金収入	[1,300,000]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[△ 0]	[1,300,000]
寄付金収入	1,300,000	0	0	0	0	0		1,300,000
(7)雑収入	[35,695]	[84]	[0]	[0]	[84]	[130,716]	[△ 0]	[166,495]
利息収入	2,160	84	0	0	84	32,502		34,746
雑収入	33,535	0	0	0	0	98,214		131,749
<b>事業活動収入計</b>	<b>274,495,718</b>	<b>480,567</b>	<b>4,681,801</b>	<b>103,179</b>	<b>5,265,547</b>	<b>95,214,250</b>	<b>△ 0</b>	<b>374,975,515</b>
<b>2. 事業活動支出</b>								
(1)事業費支出	[285,722,684]	[550,874]	[2,828,727]	[4,769,645]	[8,149,246]	[0]	[△ 0]	[293,871,930]
役員報酬支出	22,612,200	121,546	116,746	98,712	337,004			22,949,204
給与手当支出	108,980,718	66,793	2,026,059	445,287	2,538,139			111,518,857
賞与支出	16,368,366	12,477	378,490	83,184	474,151			16,842,517
通勤手当支出	6,620,402	32,139	32,139	37,496	101,774			6,722,176
役員退職慰労金支出	1,074,000	7,200	7,200	8,400	22,800			1,096,800
福利厚生費支出	22,905,539	114,599	114,599	133,700	362,898			23,268,437
旅費交通費支出	3,304,093	0	0	0	0			3,304,093
通信運搬費支出	7,684,722	648	11,933	130,272	142,853			7,827,575
消耗什器備品費支出	320,296	993	993	993	2,979			323,275
消耗品費支出	6,293,077	18,923	18,923	48,913	86,759			6,379,836
修繕費支出	857,970	570	611	1,712	2,893			860,863
印刷製本費支出	16,917,161	0	0	57,240	57,240			16,974,401
燃料費支出	334,246	0	0	0	0			334,246
光熱水料費支出	5,893,602	6,116	6,552	18,348	31,016			5,924,618
貸借料支出	6,208,960	127,507	1,614	4,523	133,644			6,342,604
保険料支出	1,447,804	1,370	1,468	4,112	6,950			1,454,754
諸謝金支出	22,146,800	0	0	0	0			22,146,800
租税公課支出	6,916,886	27,391	97,897	33,873	159,161			7,076,047
負担金支出	55,000	0	0	0	0			55,000
手数料支出	465,923	0	0	0	0			465,923
看護材料購入費支出	219,277	0	0	0	0			219,277
管理諸費支出	15,247,888	12,602	13,503	3,277,810	3,303,915			18,551,803
図書費支出	1,508,138	0	0	0	0			1,508,138
雑支出	11,339,616	0	0	385,070	385,070			11,724,686

## 資金収支計算書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位:円)

科目	会計区分	収益事業等会計				計	法人会計	内部取引消去	合計
		公益目的 事業会計	施設の 貸与等事業	販売手数料及 び出展広告料 に関する事業	福利厚生等 に関する事業				
(2)管理費支出	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[37,173,076]	[△ 0]	[37,173,076]	
役員報酬支出					0	633,119		633,119	
給料手当支出					0	11,906,314		11,906,314	
賞与支出					0	2,112,901		2,112,901	
通勤手当支出					0	547,136		547,136	
役員退職慰労金支出					0	103,200		103,200	
福利厚生費支出					0	1,707,113		1,707,113	
会議費支出					0	1,112,444		1,112,444	
旅費交通費支出					0	251,167		251,167	
通信運搬費支出					0	3,919,145		3,919,145	
消耗什器備品費支出					0	11,525		11,525	
消耗品費支出					0	232,651		232,651	
修繕費支出					0	61,934		61,934	
印刷製本費支出					0	3,587,013		3,587,013	
光熱水料費支出					0	663,595		663,595	
賃借料支出					0	2,229,040		2,229,040	
保険料支出					0	148,728		148,728	
諸謝金支出					0	365,590		365,590	
租税公課支出					0	1,232,303		1,232,303	
負担金支出					0	362,392		362,392	
手数料支出					0	3,500,510		3,500,510	
管理諸費支出					0	1,367,526		1,367,526	
交際費支出					0	602,565		602,565	
図書費支出					0	279,512		279,512	
雑支出					0	235,653		235,653	
<b>事業活動支出計</b>	285,722,684	550,874	2,828,727	4,769,645	8,149,246	37,173,076	△ 0	331,045,006	
他会計振替収支額調整前事業活動収支差額	△ 11,226,966	△ 70,307	1,853,074	△ 4,666,466	△ 2,883,699	58,041,174	△ 0	43,930,509	
他会計振替収支額	1,000,000	0	△ 1,000,000	4,766,294	3,766,294	△ 4,766,294		0	
<b>事業活動収支差額</b>	△ 10,226,966	△ 70,307	853,074	99,828	882,595	53,274,880	△ 0	43,930,509	
<b>II 投資活動収支の部</b>									
1. 投資活動収入									
(1)特定資産取崩収入	[1,074,000]	[7,200]	[7,200]	[8,400]	[22,800]	[103,200]	[△ 0]	[1,200,000]	
役員退職慰労引当資産取崩収入	1,074,000	7,200	7,200	8,400	22,800	103,200		1,200,000	
(2)雑収入	1,026,000	0	0	0	0	1,026,000		2,052,000	
<b>投資活動収入計</b>	2,100,000	7,200	7,200	8,400	22,800	1,129,200	△ 0	3,252,000	
2. 投資活動支出									
(1)特定資産取得支出	[29,172,008]	[51,107]	[51,107]	[136,469]	[238,683]	[5,280,385]	[△ 0]	[34,691,076]	
役員退職慰労引当資産取得支出	3,564,195	23,996	23,996	26,284	74,276	360,989		3,999,460	
退職給付引当資産取得支出	4,914,232	27,111	27,111	30,527	84,749	399,599		5,398,580	
看護会館取得資金取得支出	20,693,581	0	0	79,658	79,658	4,119,797		24,893,036	
記念事業積立資金取得支出	0	0	0	0	0	400,000		400,000	
(2)固定資産取得支出	[11,321,088]	[42,557]	[43,119]	[58,282]	[143,958]	[1,255,531]	[△ 0]	[12,720,577]	
建物建設支出	4,723,057	7,862	8,424	23,587	39,873	853,070		[5,616,000]	
什器備品購入支出	145,169	783	783	783	2,349	9,082		156,600	
図書購入支出	165,577	0	0	0	0	0		165,577	
その他資産購入支出	6,287,285	33,912	33,912	33,912	101,736	393,379		6,782,400	
<b>投資活動支出計</b>	40,493,096	93,664	94,226	194,751	382,641	6,535,916	△ 0	47,411,653	
<b>投資活動収支差額</b>	△ 38,393,096	△ 86,464	△ 87,026	△ 186,351	△ 359,841	△ 5,406,716	△ 0	△ 44,159,653	
<b>III 財務活動収支の部</b>									
1. 財務活動収入									
<b>財務活動収入計</b>	0	0	0	0	0	0	△ 0	0	
2. 財務活動支出									
<b>財務活動支出計</b>	0	0	0	0	0	0	△ 0	0	
<b>財務活動収支差額</b>	0	0	0	0	0	0	△ 0	0	
<b>当期収支差額</b>	△ 48,620,062	△ 156,771	766,048	△ 86,523	522,754	47,868,164	△ 0	△ 229,144	
<b>前期繰越収支差額</b>	△ 102,396,893	3,361,931	2,610,306	△ 74,028	5,898,209	299,676,396		203,177,712	
<b>次期繰越収支差額</b>	△ 151,016,955	3,205,160	3,376,354	△ 160,551	6,420,963	347,544,560	△ 0	202,948,568	

## 資金収支計算書に対する注記

### 1. 資金収支計算書の作成方法

資金収支計算書は、「公益法人会計における内部管理事項について」(平成17年3月23日 公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議監事申合せ)の規定事項及び「公益法人会計基準の運営指針」(平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会)の様式を参考に作成している。

### 2. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収入金、前払金、立替金、前払費用、仮払金、未払金、リース債務、前受金、前受会費、預り金及び仮受金を含めている。なお、前期末及び当期末残高は、下記3に記載のとおりである。

### 3. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位:円)

科目	前期末残高	当期末残高
現金預金	322,727,847	297,601,896
未収入金	16,514,156	20,183,667
前払金	153,540	122,100
立替金	31,469	37,864
前払費用	1,399,809	1,056,336
合計	340,826,821	319,001,863
未払金	1,539,742	7,269,981
リース債務	1,765,806	759,834
前受金	6,312,000	1,692,000
前受会費	126,834,000	105,270,000
預り金	1,197,561	1,061,480
合計	137,649,109	116,053,295
次期繰越収支差額	203,177,712	202,948,568

# 独立監査人の監査報告書

平成 29 年 4 月 2 / 日

公益社団法人 千葉県看護協会

会長 星野 恵美子 様

大嶋良弘公認会計士事務所

公認会計士 大嶋良弘 

私は、公益社団法人千葉県看護協会の平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日までの平成 28 年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表(貸借対照表内訳表を含む。)、正味財産増減計算書(正味財産増減計算書内訳表を含む。 )及び財務諸表に対する注記、附属明細書、財産目録及び資金収支計算書について監査を行った。

この財務諸表の作成責任は理事者にあり、私の責任は独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。

私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、私に財務諸表に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することを含んでいる。私は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

私は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準及び管理規約に準拠して、公益社団法人千葉県看護協会の平成 28 年度の収支の状況及び同年度末日現在の財政状態をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

公益社団法人千葉県看護協会と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

## 監査報告書

公益社団法人千葉県看護協会  
会 長 星野 恵美子 様

平成 28 年度における公益社団法人千葉県看護協会の業務執行状況、公益目的事業会計、収益事業等会計、法人会計の管理、執行状況について、平成 28 年度監事監査実施計画に基づき、第 1 回（平成 28 年 11 月 9 日）及び第 2 回（平成 29 年 5 月 11 日）監査を実施したので、その結果を報告する。

### 監査の方法

- 1 業務に関しては、事業実績調書、証拠書類・諸帳簿を資料として、会長（代表理事）及び業務執行理事から報告と説明を受け関係書類を調査、閲覧し、業務執行状況を監査した。
- 2 会計に関しては、帳簿及び関係書類を調査、閲覧し、計算書により報告と説明を受け、また公認会計士からの監査報告書を検証して、会計管理、執行状況を監査した。

### 監査意見

業務執行、予算執行、財産の管理について、正確かつ適正に処理されていることを認める。

平成 29 年 5 月 11 日

公益社団法人千葉県看護協会

監 事 飯塚 忠義

監 事 石 須 夏子

監 事 松 永 敏子

## 第2号議案 平成29年度 役員及び推薦委員の選任について

定款第22条及び選挙運営規則第2条、役員を選任する規程第2条の規定により、役員及び推薦委員を選任する。

- 1 役員(理事及び監事)については、推薦委員会の推薦による候補者のほか立候補による候補者がなく、選任数と候補者数が同数のため、選挙によらず候補者を確定し、当総会の承認により役員を選任する。
- 2 推薦委員については、候補者数が選任数を上回るため、本日の定時総会において選挙を執行し、この選挙結果により選任する。

### I 役員(理事)候補者 選任数8名(候補者数8名)

役職	推薦・立候補	フリガナ氏名	職種	所属	役職理事
理事	推薦	アサノミチエ 浅野美知恵	看	東邦大学健康科学部	副会長
理事	推薦	サワダイツコ 澤田いつ子	保	公益社団法人千葉県看護協会	専務理事
理事	推薦	カワナチハル 川名千春	保	千葉県君津健康福祉センター	保健師職能理事
理事	推薦	タカイコウコ 高井孝子	看	千葉県こども病院	看護師職能(領域Ⅰ)理事 ※補欠として選任
理事	推薦	コノミレイコ 許斐玲子	看	社会福祉法人双樹会地域密着型 特別養護老人ホーム リバーサイド	看護師職能(領域Ⅱ)理事
理事	推薦	コガサカヨシコ 小賀坂好子	保	帝京平成大学 健康医療スポーツ学部看護学科	—
理事	推薦	マスブチミエコ 増渕美恵子	助	日本医科大学千葉北総病院	—
理事	推薦	オオサカミホ 大坂美穂	看	千葉県立佐原病院	—

※ 理事の選任は、当定時総会の選任決議による。

※ 理事の役職については、当総会における理事の選任結果に基づき、理事会において役職理事を選定する。

※ 看護師職能(領域Ⅰ)理事については、現職の理事から本定時総会の終結をもって辞任する旨の申出があったため、補欠の理事を選任する。なお、その任期は定款第25条の定めにより前任者の任期満了までとする。

### II 役員(監事)候補者 選任数1名(候補者数1名)

役職	推薦・立候補	フリガナ氏名	職種	所属	区分
監事	推薦	イシイタカコ 石井崇子	看	千葉県病院局経営管理課	会員からの監事

※ 監事の選任は、当総会の選任決議による。

### Ⅲ 推薦委員候補者 選任数 7 名（候補者数 8 名）

役 職	推薦・立候補	フリガナ氏名	職 種	所 属
推薦委員	推薦	イコマ ヒロコ 生 駒 博 子	保	千葉県海匠健康福祉センター 八日市場地域保健センター
推薦委員	推薦	シモカワベ ジンコ 下河邊 仁 子	助	東京歯科大学市川総合病院
推薦委員	推薦	シンメイ ナオミ 神 明 直 美	看	千葉県精神科医療センター
推薦委員	推薦	タグチ マユミ 田 口 真由美	看	公益財団法人柏市医療公社 柏市立柏病院
推薦委員	推薦	アイカワ ユミコ 愛 川 由美子	看	公益財団法人復光会 総武病院
推薦委員	推薦	スダ ミネコ 須 田 峰 子	看	千葉市立海浜病院
推薦委員	推薦	ミツノ キヨミ 光 野 清 美	看	社会医療法人社団木下会鎌ヶ谷総合病院
推薦委員	立候補	ハトリ ヨシコ 羽 鳥 美 子	看	市川市民診療所

※ 推薦委員の選任は、当総会における選挙結果による。

#### ■ 会長推薦による選挙管理員候補者(選挙運営規則第7条)

フリガナ氏名	所 属
サイトウ ミチコ 齊 藤 みち子	国保直営総合病院 君津中央病院
フジオカ ヒサエ 藤 岡 久 恵	日本医科大学千葉北総病院
ヨコヤマ ジュンコ 横 山 純 子	医療法人鉄蕉会 亀田総合病院
シンエイ コユキ 新 栄 こゆき	千葉県立野田看護専門学校
ヤマザキ ユカリ 山 崎 ゆかり	社会医療法人木下会 千葉西総合病院

## 第 3 号議案 会員以外の者からの監事の選任について

定款第21条・第22条、役員を選任に関する規程第5条の規定により、会員以外の者からの監事の選任について、以下のとおり理事会の推薦があったので、承認を求める。

監 事 の 区 分	フリガナ氏名	所 属
会員以外の者からの監事候補者	イイズカ タダヨシ 飯 塚 忠 義	在宅

※ 監事3名のうち1名は理事会の推薦及び総会の承認により、会員以外の者から選任する。  
(役員を選任に関する規程第5条)

# 第4号議案 平成30年度 公益社団法人日本看護協会通常総会 代議員・予備代議員の選任について

以下のとおり推薦委員会から候補者の推薦があったので、これらの者を平成30年度日本看護協会通常総会代議員及び予備代議員に選任することを求める。

## 平成30年度 公益社団法人日本看護協会通常総会代議員・予備代議員候補者

【代議員】

	地区	氏名	シメイ	職種	所 属	区 分
1	役員等	浅野 美知恵	アサノ ミチエ	看	東邦大学健康科学部	副会長候補
2		澤田 いつ子	サワダ イツコ	保	公益社団法人 千葉県看護協会	専務理事候補
3		川名 千春	カワナ チハル	保	千葉県君津健康福祉センター	保健師職能理事候補
4		大澤 豊子	オオサワ トヨコ	助	帝京平成大学 健康医療スポーツ学部看護学科	助産師職能理事
5		高井 孝子	タカイ コウコ	看	千葉県こども病院	看護師職能(領域Ⅰ)理事候補
6		許斐 玲子	コノミ レイコ	看	社会福祉法人 双樹会 地域密着型特別養護老人ホーム リバーサイド	看護師職能(領域Ⅱ)理事候補
7		山口 規予	ヤマグチ キヨ	准	社会医療法人 社団 正朋会 穴倉病院	理事
8	千 葉	中島 恵美子	ナカジマ エミコ	看	医療法人 社団 誠馨会 総泉病院	地区部会
9		箱崎 恵理	ハコザキ エリ	看	千葉県こども病院	地区部会
10		森田 茂	モリタ シゲル	看	千葉県精神科医療センター	地区部会
11		上永吉 美代子	カミナガヨシ ミヨコ	看	社会医療法人 社団 健脳会 千葉脳神経外科病院	地区部会
12	市 原	東 則子	ヒガシ ノリコ	看	医療法人 鎗田病院	地区部会
13	船 橋	市川 智子	イチカワ トモコ	助	独立行政法人 地域医療機能推進機構 船橋中央病院	地区部会
14		佐々木 悦子	ササキ エツコ	看	医療法人 沖繩徳洲会 千葉徳洲会病院	地区部会
15		光野 清美	ミツノ キヨミ	看	社会医療法人 社団 木下会 鎌ヶ谷総合病院	地区部会
16	市 川	木村 美詠	キムラ ミエ	保	公益社団法人 地域医療振興協会 東京ベイ・浦安市川医療センター	地区部会
17		上野 順子	ウエノ ヨリコ	看	公益社団法人 地域医療振興協会 介護老人保健施設市川ゆうゆう	地区部会
18	松 戸	山賀 好美	ヤマガ ヨシミ	看	医療法人 財団 松園会 東葛クリニック病院	地区部会
19	東 葛	萩原 祐子	ハギワラ ユウコ	看	医療法人 社団 葵会 柏たなか病院	地区部会
20		佐澤 夫佐好	サザワ フサコ	看	医療法人 社団 康喜会 東葛辻仲病院	地区部会
21	印 旛	高木 智美	タカギ トモミ	看	社会福祉法人 聖隷福祉事業団 聖隷佐倉市民病院	地区部会
22		山本 佐重子	ヤマモト サエコ	看	独立行政法人 国立病院機構 下志津病院	地区部会
23	利 根	菅澤 京子	スガサワ キョウコ	看	千葉県立佐原病院	地区部会
24	山 武	渡辺 郁子	ワタナベ イクコ	看	医療法人 社団 徳風会 高根病院	地区部会
25	長 夷	倉津 与之美	クラツ ヨシミ	看	社会医療法人 社団 正朋会 穴倉病院	地区部会
26	君 津	新田 ルミ	ニッタ ルミ	看	医療法人 社団 志仁会 薬丸病院	地区部会
27	安 房	君塚 真弓	キミツカ マユミ	看	医療法人 明星会 東条病院	地区部会

※保健師、助産師、准看護師を各1名含むこと。候補者の所属は、4月1日時点の会員登録情報による。

【予備代議員】

	選出区分	氏名	シメイ	職種	所 属	区 分
1	役員等	石渡 祥子	イシワタリ ショウコ	看	成田赤十字病院	副会長
2		福留 浩子	フクドメ ヒロコ	保	公益社団法人 千葉県看護協会	常任理事
3		寺口 恵子	テラグチ ケイコ	看	公益社団法人 千葉県看護協会	常任理事
4		小暮 美子	コグレ ヨシコ	看	国保小見川総合病院	理事
5		伊藤 恵美	イトウ エミ	看	公益財団法人 日産厚生会 佐倉厚生園病院	理事
6		増淵 美恵子	マスブチ ミエコ	助	日本医科大学 千葉北総病院	理事
7		森岡 ひとみ	モリオカ ヒトミ	准	医療法人 財団 松園会 東葛クリニック病院	看護師(領域Ⅰ)職能委員候補
8	千 葉	澤田 正志	サワダ マサシ	看	千葉県救急医療センター	地区部会
9		渡辺 尚子	ワタナベ ナオコ	看	千葉県青葉看護専門学校	地区部会
10		細川 優子	ホソカワ ユウコ	看	独立行政法人 国立病院機構 千葉医療センター	地区部会
11	岸 清次	キ シ セイジ	看	独立行政法人 国立病院機構 下総精神医療センター	地区部会	
12	市 原	青田 孝子	アオタ タカコ	看	独立行政法人 労働者健康安全機構 千葉労災病院	地区部会
13	船 橋	荒澤 恵子	アラサワ ケイコ	看	社会医療法人 社団 木下会 鎌ヶ谷総合病院	地区部会
14		村山 美佐子	ムラヤマ ミサコ	看	船橋市立医療センター	地区部会
15	市 川	住谷 真由美	スミヤ マユミ	看	医療法人 社団 愛友会 津田沼中央総合病院	地区部会
16		小久保 智子	コクボ トモコ	看	IMSグループ 医療法人 財団 明理会 行徳総合病院	地区部会
17		南村 京子	ナムラ キョウコ	看	医療法人 社団 嵐川 大野中央病院	地区部会
18	松 戸	山崎 浩子	ヤマザキ ヒロコ	看	IMSグループ 医療法人 財団 明理会 新松戸中央総合病院	地区部会
19	東 葛	中村 美代子	ナカムラ ミヨコ	看	医療法人 社団 柏水会 初石病院	地区部会
20		鍋田 芳子	ナベタ ヨシコ	看	医療法人 社団 真療会 野田病院	地区部会
21	印 旛	纈 纈 真砂美	コウケツ マサミ	看	医療法人 社団 愛信会 佐倉中央病院	地区部会
22		由比 寿子	ユビ トシコ	看	成田赤十字病院	地区部会
23	利 根	小林 千恵	コバヤシ チエ	看	国保匝瑳市民病院	地区部会
24	山 武	林 孝枝	ハヤシ タカエ	看	大網白里市立 国保大網病院	地区部会
25	長 夷	亀田 日出子	カメダ ヒデコ	看	医療法人 SHIODA 塩田記念病院	地区部会
26	君 津	秦野 康子	ハタノ ヤスコ	看	国保直営総合病院 君津中央病院	地区部会
27	安 房	本橋 則子	モトハシ ノリコ	看	社会医療法人 社団 木下会 館山病院	地区部会

※保健師、助産師、准看護師を各1名含むこと。候補者の所属は、4月1日時点の会員登録情報による。



メ 毛

Handwriting practice area with 20 sets of horizontal lines. Each set consists of a solid top line, a dashed middle line, and a solid bottom line.

---

---

## 報 告 事 項

---

---

平成29年度 公益社団法人千葉県看護協会事業計画及び収支予算について

平成29年度事業計画及び収支予算について理事会において承認されたので、報告する。

# 平成29年度 (公社) 千葉県看護協会事業計画について

## 【重点項目・重点事業】

- 1 看護職が働き続けられる職場環境づくりの推進
- 2 安全で安心な専門性の高い看護を提供するための教育の充実
- 3 地域包括ケアシステムの構築の推進
- 4 少子超高齢社会（2025年）を見据えた看護職の育成・確保
- 5 保健師のキャリア形成と統括的役割を担う保健師の配置の推進
- 6 妊娠・分娩・育児における安全・安心な助産ケアの確保

※項目は定款第4条の事業に基づき区分

項目	目的	事業	内容 (新規事業：ゴシック)	予算 (単位：千円)
① 教育・研修等による看護の質の向上に関する事業	県民に安全で安心な医療・看護を提供するために、職能団体の責任において、専門職としての生涯教育を提供し、看護職の資質の向上を図る。	1. 生涯教育	(1)生涯教育 (61コース) ①資格修得教育 11コース ・医療安全管理者養成研修 ・認定看護管理者教育課程 ファースト・セカンドレベル教育課程 ・AHA (アメリカ心臓協会) 心肺蘇生法トレーニング (BLS・ACLS・PEARS) ・訪問看護師養成講習「訪問看護ステップ1」 ・千葉県看護教員養成講習会 ・千葉県喀痰吸引等指導者養成講習会 ・実習指導者講習会 (40日間コース・特定分野7日間コース) ②ステップアップ研修 22コース ・段階別ステップアップ研修 (新人看護職員研修、2年目、中堅期・管理者等) ・領域別ステップアップ研修 (看護研究、糖尿病、災害等) ・認定看護管理者教育課程セカンドレベルフォローアップ研修 (セカンドレベル公開講座・特別講演) ③看護実践コース 28コース ・地域包括ケアを進めるための看護活動 ・エンド・オブ・ライフ・ケア (ELNEC-J)研修 ・妊娠・出産の包括支援の推進 ～地域における切れ目のない妊娠・出産・子育てを推進するために今！保健師・助産師が連携してできること～ ・保健師実践能力向上研修 ・医療依存度の高い小児を支えるための地域包括ケア【公開研修 地域包括ケアを進めるための看護活動3日目】 ・医療安全基礎～チームステップス～ ・高齢者に起こりやすい機能低下と生活を支える看護 (生活編)～病院から在宅へ～ ・食べたいをかなえる！経口摂取ケアのポイント (在宅編) ・NICU看護師養成研修 (生活モデルを基盤とした在宅移行支援) 千葉県委託事業 (再掲) ①千葉県看護教員養成講習会 ②新人看護師研修 ③新人助産師研修 ④実地指導者研修 ⑤教育担当者研修 ⑥実習指導者講習会 (40日間コース) ⑦実習指導者講習会 (特定分野7日間コース) ⑧千葉県喀痰吸引等指導者養成講習会 ⑨NICU看護師養成研修 (生活モデルを基盤とした在宅移行支援)	公益目的事業 会計
		2. 千葉県看護研究学会	(1)第36回千葉県看護研究学会 日時 平成30年2月16日 (金) 場所 アバホテル&リゾート (東京ベイ幕張)	
		3. 図書室の管理運営	(1)図書室の管理運営 (2)資料・文献検索・レファレンス	
		4. 委員会の開催	(1)事業運営のための委員会の開催 ①教育委員会 年6回 ②第36回千葉県看護研究学会実行委員会 年6回 ③認定看護管理者教育課程運営委員会 年4回	
			小 計	123,816
② 看護師等の労働環境等の改善、就業促進等による	ワーク・ライフ・バランスを踏まえて、看護職が専門性を発揮し、働き続けられるための環境づくりを推進し、看護職の確保定着を図る。	1. 第4次千葉県看護職定着・確保推進計画の普及・推進 2. 看護職の労働環境の向上	(1)第4次千葉県看護職定着確保推進計画の普及・推進 (2)千葉県看護職定着確保推進計画の推進 (3)看護職定着確保対策協議会の開催 年1回 (4)看護職定着・確保対策事業の普及啓発(再掲) ①「看護しばい」、ホームページ等による広報 ②各種協会事業を通じた普及 (5)労働環境改善委員会の開催 年6回  (1)ワーク・ライフ・バランスの推進 ①WLB推進会議の開催 年5回 ②WLBワークショップ ・事前研修会の開催 ・WLBワークショップの開催 新規3施設予定 既取組み施設9施設 ・WLBフォローアップワークショップの開催 ③インデックス調査 ④取組み3年目評価会議の開催 ⑤安房地区WLB研修会の開催 (2)千葉県医療勤務環境改善支援センター (千葉県実施) 看護管理アドバイザー 60日 ①相談窓口開設 ②アドバイザー派遣	公益目的事業 会計

項目	目的	事業	内容 (新規事業：ゴシック)	予算 (単位：千円)
② 看護師等の労働環境等の改善、就業促進等による看護師等の人材確保・定着に関する事業	ワーク・ライフ・バランスを踏まえて、看護職が専門性を発揮し、働き続けられるための環境づくりを推進し、看護職の確保定着を図る。	3. 看護進路相談事業	(1)出前授業 (いのちの大切さ教育) (2)ふれあい看護体験事業 (3)進路相談事業 (4)進路担当教員等への情報提供	公益目的事業 会計
		4. 中小規模病院看護管理者の研修及び情報交換会	4. 中小規模病院看護管理者の研修及び情報交換会	
③ 訪問看護の推進に関する事業	在宅医療の中核を担う訪問看護の質の向上を図り、安定的な供給を図る。	5. 看護職確保推進試行事業	5. 看護職確保推進試行事業	66,785
		6. ナースセンター事業 (千葉県委託)	(1)看護職の定着確保に係る実態調査 (2)看護職の無料職業紹介 (3)届出制度 ①ナースセンターのコンピュータシステム(とどけるん)を利用し、離職届の受理 ②ナースセンターへの登録の働きかけ ③合同就職説明会開催情報、研修会、求人情報、施設概要等の提供 ④届出者に対する就業支援 ⑤就業確認 往復はがきによる就業調査 (4)未就業看護職の就業支援 ①看護基礎技術講習会 (5回/月程度開催) ②合同就職説明会の開催 ③訪問看護基礎研修会 ・ 半日コース 年5回 (地域別3回 看護会館2回) ・ 1日コース 年3回 (看護会館) ・ 研修会受講後の再就業支援 (再掲) ④公共職業安定所と連携した相談ブースの設置 (千葉2回/月、松戸2回/月、木更津2回/月、成田1回/月、船橋1回/月) ⑤未就業看護師等再就業支援セミナーの開催 ⑥看護職への求人情報の提供 ⑦サテライト事業の推進 ・ 公共職業安定所と連携した相談ブースの設置(再掲) ・ 合同就職説明会の開催 (再掲) ・ 再就業支援セミナーの開催 2回/年程度 (ナースセンター、その他ハローワーク等にて開催) ⑧就業相談推進アドバイザーによる施設訪問の強化 ⑨プラチナナース研修・交流会 対象：定年退職を迎える看護職 定年退職をした未就業看護職 内容：定年後のマネープラン 退職後の職場選び等 ⑩ナースセンター来所者、ハローワーク相談者への就業確認 ・ 往復はがき送付による調査 (5)ナースセンター運営委員会の開催 年1回 (6)ナースセンター事業の広報 (7)関係機関との連携 (日本看護協会、中央ナースセンター、公共職業安定所等) (8)看護職への相談支援 (9)看護進路相談事業(再掲) (10)ナースセンターの維持管理	
③ 訪問看護の推進に関する事業	在宅医療の中核を担う訪問看護の質の向上を図り、安定的な供給を図る。	7. 医療・看護における安全対策	(1)医療・看護に関する相談支援、情報提供 ・ 医療事故調査に関する情報提供、支援者紹介 (2)医療安全推進週間の推進 ①医療安全大会の開催 ・ 日 時 平成29年11月12日 (日) ・ 場 所 幕張メッセ国際会議場 ②医療安全推進の普及啓発 ・ 医療安全に関する標語の募集 ・ ポスター等による普及啓発 (3)医療安全管理者の育成 ①医療安全管理者養成研修会(再掲) ②医療安全担当者中央交流会 ③医療安全担当者地区交流会 (2年日：君津・安房地区、1年日：2地区予定) (4)関係機関等との連携促進 (5)医療安全委員会の開催 年6回	小 計
		1. 訪問看護推進事業 (千葉県委託)	(1)訪問看護推進協議会の開催 (2)訪問看護に関する総合相談の実施 (3)訪問看護の普及啓発事業 ①看看連携・看看ケアマネ連携フォーラム(長夷地区、他1ヶ所) ②訪問看護病院経営者講習会 (3地区) (4)訪問看護師指導者育成研修会 (5)訪問看護再就職支援事業 ①訪問看護ステーション見学体験 ②訪問看護就職フェア	
③ 訪問看護の推進に関する事業	在宅医療の中核を担う訪問看護の質の向上を図り、安定的な供給を図る。	2. 訪問看護推進事業 (協会単独事業)	(1)訪問看護師人材育成事業 ①「新卒者等訪問看護師育成プログラム」に基づく人材育成支援事業 ・ 新卒訪問看護師 (2年日 3名) ・ 潜在訪問看護師 (5名) ②訪問看護師養成講習会「訪問看護研修ステップ1」の開催 (再掲) (2)訪問看護ステーションIT化等推進事業 ①「千葉県看護協会版訪問看護ソフト」の普及 ②経営診断シミュレーションシステムの普及	19,049
		3. 関係機関との連携	(1)日本看護協会、訪問看護事業協会等との連携 (2)医師会、訪問看護ステーション連絡協議会等との連携	
小 計				66,785
小 計				19,049

項目	目的	事業	内容 (新規事業：ゴシック)	予算 (単位：千円)
④ 県民の健康・福祉の増進に関する事業	看護を通して、県民の健康の保持増進に寄与するとともに、看護への誓いを深める。	1. 「看護の日」「看護週間」事業	(1)第27回県民が集う「看護の日」事業 ①地区部会行事 平成29年5月13日(土) 【テーマ】 看護の心をみんなの心に～地域で輪となりつなげる看護～ ・場所 12地区部会が決定した場所 ・内容 地区独自の事業(測定、体験、助産師の仕事PR、相談等) ②実行委員会の開催(2回)	公益目的事業 会計
		2. 「まちの保健室」事業	(1)常設型の開催 ①開催場所 12地区部会の決定会場 (2)イベント型の積極的な開催	
④ 県民の健康・福祉の増進に関する事業		3. 自殺予防対策	(1)心の総合相談 ①専用電話・専用メールによる相談対応 ②自殺予防に関する広報 (2)人材育成研修の開催(再掲) ①「身体疾患を持ったうつ傾向にある患者への関わり方を学ぼう」(再掲) ②「看護管理に活用できる職場のメンタルヘルスとストレスマネジメント」(再掲)	
		4. 千葉県小児救急電話相談事業	(1)相談員の登録・管理 ・相談時間 19:00～6:00 ・相談体制 19:00～22:00 3名 22:00～6:00 2名 (2)相談員の勤務調整(24名) (3)相談員研修会の開催 (4)小児救急電話相談事業協議会への出席	
④ 県民の健康・福祉の増進に関する事業		5. 関係機関・他団体への協力	(1)研修会等への講師紹介や派遣 (2)行事等への参加、必要時ボランティアの派遣	
		6. 災害支援対策事業	(1)災害支援ネットワークの強化 ①千葉県看護協会災害対策本部の設置 ②災害時における関係機関との連携 ・日本看護協会及び都道府県看護協会 ・千葉県、市町村 ③平常時における連携 ・県内施設、日本看護協会等合同防災訓練 ・九都県市合同防災訓練、市町村等訓練への参加 (2)災害に備えた支援体制の整備 ①災害支援ナースの登録促進 ②災害支援ナースの登録・管理 ③災害救護対応マニュアルの見直し ④災害時の災害支援ナースの派遣調整 ⑤災害時必要物品の管理 (3)災害支援ナースの育成 ①「災害支援ナースの第一歩～災害看護の基本的知識～」(再掲) ②「災害医療と看護(実践編)」(再掲) ③災害支援ナース更新・再登録要件講習会 (4)災害対策委員会(特別委員会)の設置・開催 年2回程度	
			小計	24,614
⑤ 看護に関する調査研究、看護業務の開発及び看護制度への提言等に関する事業	看護を取り巻く課題を明確にし、看護職の専門性や看護の発展に寄与する。	1. 職能委員会(職能)	(1)保健師職能委員会 年6回程度 (2)助産師職能委員会 年6回程度 (3)看護師職能委員会(領域Ⅰ) 年6回程度 (4)看護師職能委員会(領域Ⅱ) 年6回程度	公益目的事業 会計
		2. 職能集会・交流会(職能)	(1)職能集会 ①保健師職能集会 1回 ②助産師職能集会 1回 ③看護師職能集会(領域Ⅰ) 1回 ④看護師職能集会(領域Ⅱ) 1回 (2)各職能別交流会 ①保健師職能交流会 1回 ②助産師職能交流会(管理者、中堅) 2回 ③看護師職能交流会(領域Ⅰ) 1回 ④看護師職能交流会(領域Ⅱ) 1回 ⑤准看護師交流会 1回	
⑤ 看護に関する調査研究、看護業務の開発及び看護制度への提言等に関する事業		1. 県行政等への要望・意見具申(看護制度)	(1)県の翌年度予算等に関する要望書の提出 (2)県議会等の活動への協力依頼等 (3)千葉県医療審議会等への参画	
		2. 看護関連施策に対する提言(看護制度)	(1)国・日本看護協会等の要望・提言 (2)資格認定制度の推進 ①専門看護師、認定看護師等の資格取得の促進 ②特定行為に係る看護師の研修制度の普及・資格取得の推進	
			小計	7,173
⑥ 指定居宅サービス・居宅介護支援に関する事業並びに訪問看護の実施に関する事業	在宅療養者に質の高い訪問看護及び居宅介護支援を提供するとともに、訪問看護の普及啓発等を通して在宅療養者の環境づくりに寄与する。	1. 訪問看護事業	(1)質の高い訪問看護の提供 (2)在宅ホスピス・医療ニーズの高い患者家族への支援 (3)24時間、緊急時の訪問看護の提供	公益目的事業 会計
		2. 居宅介護支援事業	(1)ケアプランの提供 (2)地域のネットワークづくり (3)利用者の申請代行	
		3. 訪問看護の普及	(1)訪問看護研修生の受入れ (2)看護学生実習の受入れ	

項目	目的	事業	内容 (新規事業：ゴシック)	予算 (単位：千円)
⑥ 指定居宅サービス・居宅介護支援に関する事業並びに訪問看護の実施に関する事業	在宅療養者に質の高い訪問看護及び居宅介護支援を提供するとともに、訪問看護の普及啓発等を通して在宅療養者の環境づくりに寄与する。	4. 地域ニーズに応じた運営体制の整備	(1)在宅ホスピス・医療ニーズの高い患者家族への支援 (2)ちば訪問看護ステーション定例会議 月1回 (3)ちば訪問看護ステーション運営会議 年3回程度	公益目的事業 会計
		5. 医療機関・介護サービス事業所及び他職種との連携	(1)医療機関、介護支援専門員等との連携 ①地域連携の会・交流会、ケア担当者会議への参加 (2)利用者確保のための広報活動	
		6. 職員の資質の向上	(1)事例検討会 (2)研修会・学会等への参加 (3)地域の行事・交流会、連絡会等への参加(再掲)	
			小 計	51,216
⑦ その他、この法人が目的を達成するために必要な事業	県民の健康な生活の実現に貢献するために、地域の特性を考慮した看護の提供及び保健知識の普及を行う。	1. 地区部会活動事業	(1)具体的な地区部会活動 ①役員会 年6回程度 ②連絡会 年2回程度 ③研修会 年3回 ④まちの保健室の開催 (再掲) ⑤「看護の日」「看護週間」事業 (再掲) ⑥その他、地区特有の事業 (2)看護職定着確保対策の推進 ①合同就職説明会の開催 (再掲) ②医療安全担当者地区交流会の開催(再掲)	公益目的事業 会計
		1. 情報提供、広報事業	(1)千葉県看護協会の広報 ①機関誌「看護ちば」の発行 年4回 ②ホームページの充実 ③協会パンフレット等の活用 (2)広報委員会の開催 年6回	
	情報提供及び広報を行う。		小 計	37,381
	当協会会員に対する相互扶助等の(福利厚生)事業を行う。	1. 施設の貸与等事業 2. 販売手数料及び出展広告に関する事業 3. 会員サービス・福祉の充実等	(1)本納建物賃貸  (1)看護関連図書の紹介 (2)総会・医療安全大会等 出展広告掲載業者の募集 (3)会員管理受託業務及び代議員選出受託業務 (日本看護協会)  (1)会員への相談支援、情報提供 (2)看護職の表彰 (3)慶弔、病氣見舞い (4)災害時の支援(再掲) (5)会員福利厚生サービスの実施・広報	収益事業等 会計
			小 計	9,527
	県民の健康な生活の実現に貢献するために、公益社団法人としての組織運営を円滑・適正に行う。	1. 組織運営に関する会議等の開催  2. 会員増の促進  3. 公益社団法人に係る届出事務(千葉県知事等)  4. 日本看護協会との連携  5. 行政等との連携  6. 役員・職員の資質の向上と福利厚生  7. 協会資産の管理	(1)総会 年1回 ①日時：平成29年6月20日(火) ②場所：ホテルポートプラザちば (2)理事会 年6回程度 (3)施設等会員代表者会 年2回(7/19、2月～3月)ホテルポートプラザちば (4)地区部会長会 年2回(7/25、1/25) (5)保助看護職能委員会(再掲) 年6回程度 (6)推薦委員会 年6回程度 (7)常任委員会(再掲) 年6回程度 教育委員会 労働環境改善委員会 医療安全委員会 広報委員会 会員増進委員会 (8)千葉県看護連盟との連携  (1)新規入会の促進 ①新人看護職の入会促進 ②未加入施設への入会促進 ③保健師・准看護師の入会促進 (2)継続会員への勧奨 (3)再入会者への入会促進 (4)会員増進委員会の開催 年6回  (1)平成29年度事業計画・収支予算等の提出 (2)平成28年度定期報告(事業報告・決算報告等) (3)役員等の変更登記及び届出  (1)法人会員会・理事会 (2)職能委員長会 (3)日本看護協会通常総会代議員選出  (1)千葉県及び市町村主催の会議等への参画 (2)三師会、日本助産師会及び関係団体との連携 (3)関係団体の行事等への協賛・後援  (1)研修の実施 (2)健康診断  (1)看護会館等の管理 ①看護会館の管理 イ 保全等 ロ 環境整備 ②公用車の管理 (2)情報資産の管理・活用 ①情報資産の管理 イ 情報セキュリティの確保 ロ 個人情報関連業務の標準化 ②情報資産の活用 イ グループウェア、ファイルサーバー等による情報共有	法人 会計
			小 計	41,991
			予 算 合 計	381,552

# 平成29年度 公益社団法人千葉県看護協会収支予算について

## 平成29年度予算の概要

### 1 予算編成方針

平成24年度、新公益社団法人へ移行したことに伴い、予算の編成にあたっては、公益目的事業を重視し、事業計画を円滑かつ効率的に推進するため、限りある収入を効果的に活用することを旨に、重点事業を設定し、また個別事業ごとに事業の内容を精査し、経費を積算したうえで予算を編成したものである。

### 2 予算の作成方式

(1) 法令により新公益法人制度に準拠した「20年会計基準」を適用しており、収支予算は、新基準に基づいた「損益ベース」の収支予算書で構成している。

\* 「平成20年会計基準」 国の定める公益社団法人の標準会計方式（平成20年策定、施行）

(2) 収支予算は、大きく「公益目的事業会計」、「収益事業等会計」、「法人会計（全体管理費）」の3つの会計区分として構成される。

(3) 「公益目的事業会計」は、定款第4条（事業）の規定による7つの事業に区分している。

(4) 「収益事業等会計」は、収益事業「施設の貸与等事業」「販売手数料及び出展広告料に関する事業」と、その他の事業（相互扶助（共益）事業）「会員福利厚生等に関する事業」に区分している。

(5) 平成29年度予算は、公益社団法人の法定要件として求められる、次の財務三基準を考慮して作成し、これらの基準をクリアーしている。

① 公益目的事業に係る収入が事業実施に要する費用を超えないこと

（収支相償の原則）

② 公益目的事業比率が事業費全体の50%以上となるものであること

（50%ルール）

③ 遊休財産額（用途を定めない財産）が保有制限額を超えないこと

### 3 予算の構成等

#### (1) 概況

① 全体予算の規模は、収益で388,665千円、費用で381,552千円である。

前年度決算との比較において主な点は以下のとおりである。

イ) 研修会参加料：62,232千円→60,445千円

- ・ 認定看護管理者教育課程の受講料増 : 6,000千円増
- ・ 外部会場開催研修の未実施による受講料減等 : 7,787千円減

ロ) 看護職員の資質向上研修事業受託料 : 10,227千円→28,125千円

- ・ 千葉県看護教員養成講習会 : 16,000千円増
- ・ N I C U看護師養成研修 : 1,458千円増
- ・ 実習指導者講習会 (特定分野7日間コース) : 265千円増
- ・ 千葉県喀痰吸引等指導者養成講習会 : 175千円増

ハ) ナースセンター事業受託料：31,550千円→34,065千円

- ・ 就業相談推進アドバイザー1名増：2,515千円増

ニ) 助産師出向支援導入事業受託料：2,102千円→0千円

- ・ 助産師出向支援導入事業 終了：2,102千円減

② 費用内訳は、次のとおりである。

公益目的事業	330,034千円 (86.5%)
収益事業等	9,527千円 ( 2.5%)
法人会計	41,991千円 (11.0%)
<hr/>	
計	381,552千円 (100 %)

#### (2) 特記事項

① 受取入会金及び受取年会費については、新規入会数2,700人、会員数26,000人を見込み算定している。

② 受取入会金及び受取年会費については、制度上、原則として50%を公益目的事業会計に計上する必要がある等の理由から、公益目的事業会計へ50%を計上し、残額を法人会計へ計上している。

ただし、実際の執行にあっては、法人会計から公益目的事業の費用も負担することとなる。

(入会金・年会費の50%だけを公益目的事業に用いるということではない。)

③ 県等他団体からの受託・補助等事業については、見込額をもとに予算を計上しているものである。



## 平成29年度 収支予算書（概要）

### 平成29年度 収支予算

（単位：千円）

経常収益計	388,665
経常費用計	381,552
当期経常増減額	7,113
当期一般正味財産増減額	7,113
正味財産期首残高	678,060
正味財産期末残高	685,173

### 収益の部

（単位：千円）

会計区分	科目	予算額	前年度 予算額	増減額	構成比率	
公益 目的 事業 会 計	特定資産受取利息	292	292	0	0.08%	
	受取入会金	16,200	16,740	△ 540	4.17%	
	受取年会費	78,000	78,000	0	20.07%	
	研修会参加料	60,445	54,388	6,057	15.55%	
	事業受託料 収 益	看護職員の資質向上研修事業受託料（千葉県）	28,125	10,558	17,567	7.24%
		ナースセンター事業受託料・管理受託料（千葉県）	34,065	31,550	2,515	8.76%
		訪問看護推進事業受託料（千葉県）	5,389	5,000	389	1.39%
		小児救急電話相談事業受託料（千葉県）	1,309	984	325	0.34%
		助産師出向支援導入事業受託料（千葉県）	0	2,102	△ 2,102	0.00%
		インターネット配信研修受託料（日本看護協会）	765	1,071	△ 306	0.20%
		小計	69,653	51,265	18,388	17.92%
	訪問看護・居宅介護支援事業収益 ※特定資産受取利息及び受取利息を除く	52,175	51,737	438	13.42%	
	その他事業収益（受取手数料・雑収益）	1,811	1,773	38	0.47%	
	受取補助金等	教育助成金（日本看護協会）	9,000	9,286	△ 286	2.32%
		看護の普及啓発助成金（日本看護協会）	100	100	0	0.03%
		小計	9,100	9,386	△ 286	2.34%
	受取寄附金	1,300	1,300	0	0.33%	
	事業外収益（受取利息・雑収益）	30	30	0	0.01%	
	公益目的事業 計		289,006	264,911	24,095	74.36%
	収益事業等 会計	施設の貸与等事業	482	482	0	0.12%
販売手数料及び 出展広告料に 関する事業		815	805	10	0.21%	
日本看護協会受託料（会員管理業務・代議員業務）		3,945	3,881	64	1.02%	
会員福利厚生 等に関する 事業		91	91	0	0.02%	
収益事業等 計		5,333	5,259	74	1.37%	
法 人 会 計	特定資産受取利息	58	59	△ 1	0.01%	
	受取入会金	16,200	16,740	△ 540	4.17%	
	受取年会費	78,000	78,000	0	20.07%	
	受取利息及び雑収益	68	69	△ 1	0.02%	
	法人会計 計	94,326	94,868	△ 542	24.27%	
経常収益計		388,665	365,038	23,627	100.00%	

費用の部

(単位：千円)

会計区分	定 款 事 業		予算額	前年度予算額	増減	構成比率	
公 益 目 的 事 業 会 計	①	教育・研修等による看護の質の向上に関する事業	生涯教育	79,938	82,843	△ 2,905	20.95%
			千葉県看護研究学会				
			図書室の管理運営				
			委員会の開催				
		資質向上(県)	千葉県受託研修	43,878	26,171	17,707	11.50%
	小 計			123,816	109,014	14,802	32.45%
	②	看護師等の労働環境等の改善、就業促進等により、看護師等の人材確保・定着に関する事業	看護職確保・定着事業	18,207	17,689	518	4.77%
			第4次千葉県看護職定着・確保推進計画の普及・推進				
			看護職の労働環境の向上				
		ナースセンター事業(県)	ナースセンター事業(千葉県委託)	35,620	36,279	△ 659	9.34%
		医療看護安全	医療・看護における安全対策	12,958	12,816	142	3.40%
	小 計			66,785	66,784	1	17.51%
	③	訪問看護の推進に関する事業	訪問看護推進	10,715	10,830	△ 115	2.81%
			訪問看護ステーションIT化等推進事業				
			関係機関との連携				
		訪問看護推進(県)	訪問看護推進事業(千葉県委託)	8,334	7,898	436	2.18%
	小 計			19,049	18,728	321	4.99%
	④	県民への健康・福祉の増進に関する事業	保健知識普及啓発	17,015	15,993	1,022	4.46%
			「看護の日」「看護週間」事業				
「まちの保健室」事業							
自殺予防対策							
千葉県小児救急電話相談事業							
関係機関・他団体への協力							
災害救護対策		災害支援対策事業	7,599	7,014	585	1.99%	
関係機関・他団体への協力							
小 計			24,614	23,007	1,607	6.45%	
⑤	看護に関する調査研究、看護業務の開発及び看護制度への提言等に関する事業	職能	職能委員会、職能集会、交流会	5,676	6,746	△ 1,070	1.49%
		看護制度	県行政等への要望、意見具申	1,497	1,485	12	0.39%
			看護関連施策に対する提言				
小 計			7,173	8,231	△ 1,058	1.88%	
⑥	介護保険法に基づく指定居宅サービス・居宅介護支援に関する事業並びに健康保険法に基づく訪問看護に関する事業	訪問看護・居宅介護	訪問看護事業	51,216	53,332	△ 2,116	13.42%
			居宅介護支援事業				
			訪問看護の普及				
			地域ニーズに応じた運営体制の整備				
			医療機関・介護サービス事業所及び他職種との連携				
		職員の資質の向上					
小 計			51,216	53,332	△ 2,116	13.42%	
⑦	その他、この法人の目的を達成するために必要な事業	地区部会	地区部会活動事業	15,557	14,534	1,023	4.08%
		広報	情報提供、広報事業	14,437	14,362	75	3.78%
		公益目的事業共通	各公益目的事業に係る共通経費	7,387	6,662	725	1.94%
		小 計			37,381	35,558	1,823
公益目的事業 計			330,034	314,654	15,380	86.50%	
収益事業等会計	施設の貸与等事業	施設の貸与等事業に伴う事業費		791	773	18	0.21%
	販売手数料及び出展広告料に関する事業	販売手数料及び出展広告料に関する事業に伴う事業費		3,704	3,293	411	0.97%
	会員福利厚生等に関する事業	会員福利厚生等に関する事業に伴う事業費		5,032	4,827	205	1.32%
収益事業等 計			9,527	8,893	634	2.50%	
法人会計	組織運営関係費(総会、理事会、会員増委員会 その他)		41,991	41,387	604	11.00%	
	その他一般管理費						
	法人会計 計			41,991	41,387	604	11.00%
経常費用計			381,552	364,934	16,618	100.00%	

## 平成29年度予算 正味財産増減計算書

自 平成29年4月1日

至 平成30年3月31日

(単位：千円)

	公益目的 事業会計	収益事業等会計			法人会計	合計
	中計	施設貸与等	販売手数料等	会員福利厚生	中計	
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
①特定資産運用益						
特定資産受取利息	292	1			1	58
②受取入会金						
受取入会金	16,200				0	16,200
③受取会費						
正会員受取会費	78,000				0	78,000
④事業収益						
イ) 研修会参加料						
教育研修会参加料	60,445				0	60,445
ロ) 事業受託料収入						
看護職員の資質向上研修事業受託料	28,125				0	28,125
ナースセンター事業受託料	28,225				0	28,225
ナースセンター会館管理受託料	5,840				0	5,840
訪問看護推進事業受託料	5,389				0	5,389
小児救急電話相談事業受託料	1,309				0	1,309
インターネット配信研修業務受託料	765				0	765
会員登録事務業務受託料	0		3,780		3,780	3,780
日本看護協会代議員選出業務受託料	0		165		165	165
ハ) 訪問看護・居宅介護支援事業収益						
訪問看護療養費収益	37,440				0	37,440
基本利用料収益	8,160				0	8,160
その他の利用料収益(訪看)	1,175				0	1,175
治験収益	0				0	0
居宅介護支援事業収益	4,900				0	4,900
その他の利用料収益(居宅)	0				0	0
雑収益(訪問・居宅)	500				0	500
二) その他事業収益						
受取手数料	1,405	480	815	91	1,386	2,791
雑収益	406				0	406
⑤受取補助金等						
日本看護協会助成金	9,100				0	9,100
⑥受取寄付金						
受取寄付金	1,300				0	1,300
⑦雑収益						
受取利息	30	1			1	58
雑収益	0				0	10
経常収益計	289,006	482	4,760	91	5,333	94,326

## 平成29年度予算 正味財産増減計算書

自 平成29年4月1日

至 平成30年3月31日

(単位：千円)

	公益目的 事業会計	収益事業等会計			法人会計		合計
	中計	施設貸与等	販売手数料等	会員福利厚生	中計	中計	
(2) 経常費用	事業費				事業費	管理費	
役員報酬	22,348	120	115	98	333	627	23,308
給料手当	114,163	71	2,334	472	2,877	12,591	129,631
賞与	16,283	13	417	84	514	2,176	18,973
通勤手当	7,070	6	131	30	167	796	8,033
役員退職慰労引当金繰入額	3,963	27	27	31	85	381	4,429
退職給付費用	4,516	28	28	32	88	397	5,001
福利厚生費	23,306	20	449	102	571	2,706	26,583
旅費交通費	3,952				0	197	4,149
通信運搬費	8,710	1	9	133	143	3,535	12,388
減価償却費	15,929	301	43	63	407	1,538	17,874
消耗什器備品費	435	2	2	2	6	20	461
消耗品費	8,543	23	23	71	117	263	8,923
修繕費	895	1	1	3	5	102	1,002
印刷製本費	17,512			86	86	3,584	21,182
燃料費	307				0		307
光熱水料費	6,547	7	7	20	34	723	7,304
賃借料	4,719	128	2	5	135	2,241	7,095
保険料	1,393	1	1	4	6	145	1,544
諸謝金	32,196				0	336	32,532
租税公課	6,922	27	98	34	159	1,234	8,315
支払負担金	35				0	392	427
看護材料購入費	230				0		230
管理諸費	15,977	15	17	3,286	3,318	1,671	20,966
交際費	0				0	700	700
図書費	1,236				0	297	1,533
会議費	0				0	1,446	1,446
支払手数料	637				0	3,683	4,320
雑費 (その他の経費)	12,210			476	476	210	12,896
経常費用計	330,034	791	3,704	5,032	9,527	41,991	381,552
当期経常増減額	△ 41,028	△ 309	1,056	△ 4,941	△ 4,194	52,335	7,113
2. 経常外増減の部							0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	100		△ 100	4,941	4,841	△ 4,941	0
当期一般正味財産増減額	△ 40,928	△ 309	956	0	647	47,394	7,113
一般正味財産期首残高	201,511	6,328	3,470	0	9,798	466,751	678,060
一般正味財産期末残高	160,583	6,019	4,426	0	10,445	514,145	685,173
II 指定正味財産増減の部							
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	160,583	6,019	4,426	0	10,445	514,145	685,173

# 平成29年度 正味財産増減計算書 公益目的事業会計明細表(1)

自 平成29年4月1日

至 平成30年3月31日

(単位：千円)

	公益目的事業会計 公1						
	1 教育・研修等による 看護の質の向上 に関する事業		2 看護師等の労働環境等の改 善、就業促進等により、看 護師等の人材確保・定着に 関する事業			3 訪問看護の推進に 関する事業	
	資質向上	資質向上(県)	確保定着	ナースセンター	医療安全	訪看推進	訪看推進(県)
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
①特定資産運用益							
特定資産受取利息							
②受取入会金							
受取入会金							
③受取会費							
正会員受取会費							
④事業収益							
イ) 研修会参加料							
教育研修会参加料	56,970	3,475					
ロ) 事業受託料							
看護職員の資質向上研修事業受託料		28,125					
ナースセンター事業受託料				28,225			
ナースセンター会館管理受託料				5,840			
訪問看護推進事業受託料							5,389
小児救急電話相談事業受託料							
インターネット配信研修業務受託料	765						
会員登録事務業務受託料							
日本看護協会代議員選出業務受託料							
ハ) 訪問看護・居宅介護支援事業収益							
訪問看護療養費収益							
基本利用料収益							
その他の利用料収益 (訪看)							
治験収益							
居宅介護支援事業収益							
その他の利用料収益 (居宅)							
雑収益(訪問・居宅)							
二) その他事業収益							
受取手数料	625		780				
雑収益							
⑤受取補助金等							
日本看護協会助成金	9,000						
⑥受取寄附金							
受取寄附金							
⑦雑収益							
受取利息							
雑収益							
経常収益計	67,360	31,600	780	34,065	0	0	5,389

公益目的事業会計 公1

4 県民への健康・福祉の増進に関する事業		5 看護に関する調査研究、看護業務の開発及び看護制度への提言等に関する事業		7 その他、この法人の目的を達成するために必要な事業			小計	6 介護保険法に基づく指定居宅サービス・居宅介護支援に関する事業並びに健康保険法に基づく訪問看護に関する事業（訪問看護ステーション）		小計	中計
保健知識	災害救護	職能	看護制度	地区部会	広報	共通		訪問看護	居宅介護		
						291	291	1		1	292
						16,200	16,200			0	16,200
						78,000	78,000			0	78,000
							60,445			0	60,445
							28,125			0	28,125
							28,225			0	28,225
							5,840			0	5,840
							5,389			0	5,389
1,309							1,309			0	1,309
							765			0	765
							0			0	0
							0			0	0
							0	37,440		37,440	37,440
							0	8,160		8,160	8,160
							0	1,175		1,175	1,175
							0			0	0
							0		4,900	4,900	4,900
							0			0	0
							0	500		500	500
							1,405			0	1,405
	406						406			0	406
100							9,100			0	9,100
						1,300	1,300			0	1,300
						29	29	1		1	30
							0			0	0
1,409	406	0	0	0	0	95,820	236,829	47,277	4,900	52,177	289,006

平成29年度 正味財産増減計算書 公益目的事業会計明細表(2)

自 平成29年4月1日

至 平成30年3月31日

(単位：千円)

	公益目的事業会計 公1						
	1 教育・研修等による 看護の質の向上 に関する事業		2 看護師等の労働環境等の改 善、就業促進等により、看 護師等の人材確保・定着に 関する事業			3 訪問看護の推進に 関する事業	
	資質向上	資質向上(県)	確保定着	ナースセンター	医療安全	訪看推進	訪看推進(県)
(2) 経常費用							
役員報酬	3,915	1,278	1,617	2,371	1,730	2,408	1,206
給料手当	18,704	9,799	9,286	12,577	4,034	2,752	2,384
賞与	2,788	1,548	1,326	2,242	1,121	878	703
通勤手当	1,350	650	645	787	408	250	189
役員退職慰労引当金繰入額	957	593	385	585	204	190	137
退職給付費用	997	618	402	609	212	198	143
福利厚生費	4,241	2,222	1,774	2,691	938	856	612
旅費交通費	38	536		299	42	72	73
通信運搬費	1,239	908	156	1,447	308	233	557
減価償却費	5,615	1,850	494		332	1,762	230
消耗什器備品費	169	37	24		13	12	8
消耗品費	1,828	1,864	491	882	205	170	152
修繕費	297	102	6	115	9	10	7
印刷製本費	4,279	2,731	232	2,516	469	6	317
燃料費							
光熱水料費	2,105	1,046	46	2,200	63	69	50
賃借料	1,927	472	50	191	1,369	16	131
保険料	421	144	9		13	14	10
諸謝金	13,400	12,802	311	2,010	626	192	1,115
租税公課	3,566	1,243	77	20	107	117	87
支払負担金							
看護材料購入費							
管理諸費	5,447	1,670	106	4,000	146	510	116
交際費							
図書費	850	268		48	10		40
会議費							
支払手数料							
雑費(その他の経費)	5,805	1,497	770	30	599		67
経常費用計	79,938	43,878	18,207	35,620	12,958	10,715	8,334
評価損益等調整前当期経常増減額	△12,578	△12,278	△17,427	△1,555	△12,958	△10,715	△2,945
基本財産評価損益等							
特定資産評価損益等							
投資有価証券評価損益等							
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△12,578	△12,278	△17,427	△1,555	△12,958	△10,715	△2,945
2. 経常外増減の部							
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額(収益事業より)							
当期一般正味財産増減額	△12,578	△12,278	△17,427	△1,555	△12,958	△10,715	△2,945
一般正味財産期首残高							
一般正味財産期末残高							
II 指定正味財産増減の部							
受取補助金等							
一般正味財産への振替額							
当期指定正味財産増減額							
指定正味財産期首残高							
指定正味財産期末残高							
III 正味財産期末残高							

公益目的事業会計 公1

4 県民への健康・福祉の増進に関する事業		5 看護に関する調査研究、看護業務の開発及び看護制度への提言等に関する事業		7 その他、この法人の目的を達成するために必要な事業			小計	6 介護保険法に基づく指定居宅サービス・居宅介護支援に関する事業並びに健康保険法に基づく訪問看護に関する事業(訪問看護ステーション)		小計	中計
保健知識	災害救護	職能	看護制度	地区部会	広報	共通		訪問看護	居宅介護		
2,068	1,130	546	641	1,093	1,165		21,168	827	353	1,180	22,348
5,581	2,446	2,316	307	5,842	3,596		79,624	29,755	4,784	34,539	114,163
1,852	556	315	55	764	493		14,641	1,587	55	1,642	16,283
417	218	563	36	264	293		6,070	903	97	1,000	7,070
310	115	84	27	137	155		3,879	53	31	84	3,963
323	120	88	28	143	162		4,043	441	32	473	4,516
1,427	510	387	122	632	714		17,126	5,437	743	6,180	23,306
174	31			2,429			3,694	230	28	258	3,952
460	174	250		1,125	860		7,717	939	54	993	8,710
468	804	163	82	233	244	3,185	15,462	223	244	467	15,929
19	7	5	2	9	10	120	435			0	435
331	123	68	23	459	152	1,554	8,302	233	8	241	8,543
11	7	6	4	7	6	93	680	191	24	215	895
629	648	150		180	5,200		17,357	138	17	155	17,512
							0	273	34	307	307
79	46	43	31	49	40	49	5,916	548	83	631	6,547
18	10	60	7	310	9	11	4,581	120	18	138	4,719
16	10	9	6	10	8	10	680	635	78	713	1,393
220	140	400		980			32,196			0	32,196
133	78	73	53	82	68	1,115	6,819	92	11	103	6,922
							0	31	4	35	35
							0	230		230	230
182	107	100	73	195	1,112	613	14,377	1,456	144	1,600	15,977
							0			0	0
20							1,236			0	1,236
							0			0	0
						637	637			0	637
2,277	319	50		614	150		12,178	29	3	32	12,210
17,015	7,599	5,676	1,497	15,557	14,437	7,387	278,818	44,371	6,845	51,216	330,034
△15,606	△7,193	△5,676	△1,497	△15,557	△14,437	88,433	△41,989	2,906	△1,945	961	△41,028
							0				0
							0				0
							0				0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
△15,606	△7,193	△5,676	△1,497	△15,557	△14,437	88,433	△41,989	2,906	△1,945	961	△41,028
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
						100	100			0	100
△15,606	△7,193	△5,676	△1,497	△15,557	△14,437	88,533	△41,889	2,906	△1,945	961	△40,928
							223,303			△21,792	201,511
							181,414			△20,831	160,583
											0
											0
							0			0	0
							0			0	0
							181,414			△20,831	160,583



## 平成29年度 資金調達・設備投資の見込みについて

### 1) 資金調達の見込みについて

借入れの予定	<input type="checkbox"/> あ り	<input checked="" type="checkbox"/> な し	
事業番号	借入先	金 額	
		円	

### 2) 設備投資の見込みについて

設備投資の予定	<input checked="" type="checkbox"/> あ り	<input type="checkbox"/> な し	
事業番号	設備投資の内容	支出又は収入の 予定額	資金調達方法 又は取得資金の用途
公1	HP更新用タブレット (2台・設定費等含む)	300,000	自己資金
公1、収1、 収2 他1、法人	ITセキュリティ装置更新 (ファイアーウォール等)	2,268,000	自己資金

# 理事会報告

会長 星野 恵美子

## 1. 理事会開催状況

回数	開催年月日	出席者		会場
		理事	監事	
第1回	平成28年 5月19日	17	2	千葉県看護会館 1階会議室
第2回	平成28年 6月22日	19	2	ホテルポートプラザちば2階ルビー
第3回	平成28年 7月20日	18	3	ホテルポートプラザちば2階パール
第4回	平成28年10月20日	14	3	千葉県看護会館 1階会議室
第5回	平成28年12月 8日	19	3	京成ホテルミラマーレ8階オーキッドルーム
第6回	平成29年 2月23日	17	3	千葉県看護会館 1階会議室

## 2. 理事会協議事項

回数	開催月日	協議事項	協議内容
第1回	平成28年 5月19日	議事 第1号議案 平成27年度事業報告について 第2号議案 平成27年度決算報告及び監査報告について 第3号議案 平成28年度改選役員等候補者について 第4号議案 千葉県看護協会入会及び退会規程の改正について 第5号議案 平成29年度日本看護協会代議員・予備代議員の選出について 第6号議案 平成28年度千葉県看護協会長表彰について 第7号議案 平成28年度地区部会役員について 第8号議案 認定看護管理者教育課程運営規則の改正について	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 満場一致で承認</li> <li>• 満場一致で承認</li> <li>• 満場一致で承認</li> <li>• 満場一致で承認</li> <li>• 満場一致で承認</li> <li>• 満場一致で承認</li> <li>• 満場一致で承認</li> <li>• 満場一致で承認</li> </ul>
第2回	平成28年 6月20日	議事 第1号議案 会長、副会長、常任理事、職能理事（助産師・看護師職能I）の選定について 第2号議案 理事会の議長(会長)に事故があった場合の議長について 第3号議案 業務執行理事の選定及び業務分担について 第4号議案 平成28年度役員の業務分担について 第5号議案 役員の報酬額の決定について 第6号議案 職能委員の選任について 第7号議案 常任委員の選任について	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 満場一致で承認</li> <li>• 満場一致で承認</li> <li>• 満場一致で承認</li> <li>• 満場一致で承認</li> <li>• 満場一致で承認</li> <li>• 満場一致で承認</li> <li>• 満場一致で承認</li> </ul>
第3回	平成27年 7月20日	議事 第1号議案 千葉県知事への要望について 報告事項 1 職務執行状況について (定時報告・事業の進捗状況 4月～6月分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 要望事項の柱については満場一致で承認。内容の説明文について文言の整理などの調整を業務運営会議に一任することを承認</li> </ul>

回数	開催月日	協議事項	協議内容
第4回	平成28年 10月20日	<p>議事</p> <p>第1号議案 定時総会における役員候補者選出にかかる選挙の取扱いの変更について</p> <p>第2号議案 地区部会役員の交代について</p> <p>報告事項</p> <p>1 千葉県知事への要望について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 満場一致で承認</li> <li>• 満場一致で承認</li> </ul>
第5回	平成28年 12月8日	<p>議事</p> <p>第1号議案 平成28年度千葉県看護協会の収支予算の変更(補正予算)について</p> <p>第2号議案 平成29年度千葉県看護協会事業の重点項目・重点事業について</p> <p>第3号議案 地区部会役員の交代について</p> <p>報告事項</p> <p>1 平成28年度上期監事監査報告</p> <p>2 職務執行状況について (定期報告・事業の進捗状況 4月～10月分)</p> <p>3 平成29年度役員・推薦委員の改選について</p> <p>4 日本看護協会理事会報告等について</p> <p>5 常任委員会報告</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 満場一致で承認</li> <li>• 項目の柱について満場一致で承認。説明を分かりやすく文言の整理を業務運営会議に一任</li> <li>• 満場一致で承認</li> </ul>
第6回	平成29年 2月23日	<p>議事</p> <p>第1号議案 平成29年度事業計画について</p> <p>第2号議案 平成29年度生涯教育研修計画について</p> <p>第3号議案 平成29年度予算、資金調達・設備投資の見込みについて</p> <p>第4号議案 平成29年度における千葉県看護協会の運営について(組織体制・運営体制等について)</p> <p>第5号議案 平成29年度定時総会の招集について</p> <p>第6号議案 災害対策委員会(特別委員会)の設置及び運営規程について</p> <p>報告事項</p> <p>1 平成29年度重点項目・重点事業について</p> <p>2 平成29年度役員・推薦委員の改選数の変更について</p> <p>3 職能委員会活動報告について</p> <p>4 緊急の訪問看護時における「電話による駐車許可事務取扱い」について</p> <p>5 日本看護協会理事会報告等について</p> <p>6 平成29年度千葉県看護協会年間行事予定について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 満場一致で承認</li> <li>• 満場一致で承認</li> <li>• 満場一致で承認</li> <li>• 満場一致で承認</li> <li>• 満場一致で承認</li> <li>• 委員長の選出方法について互選とする修正のうえ満場一致で承認</li> </ul>

# 業務運営会議報告

専務理事 澤田 いつ子

## 1 業務運営会議の目的

柔軟かつ円滑な協会運営に資することを目的として、主に理事会へ提案する重要事項または臨時の必要がある事項等について事前に協議または審議するため、会長、副会長、専務理事、常任理事によって構成される。

## 2 開催状況

回数	開催日	協議事項	協議内容
第1回	平成28年 5月12日	議事 1 平成27年度事業報告について 2 平成27年度決算報告及び監査報告について 3 平成28年度改選役員等候補者について 4 千葉県看護協会入会及び退会規程の改正について 5 平成29年度日本看護協会代議員・予備代議員の選出について 6 平成28年度千葉県看護協会会長表彰について 7 平成28年度地区部会役員について 8 認定看護管理者教育課程運営規則の改正について II 平成28年度定時総会について 1 平成28年度定時総会の運営等について	・平成28年度定時総会における議題および運営の役割について協議した
第2回	6月15日	議事 1 会長、副会長、常任理事、職能理事（助産師・看護師職能Ⅰ）の選定について 2 理事会の議長(会長)に事故があった場合の議長について 3 業務執行理事の選定及び業務分担について 4 平成28年度役員業務の業務分担について 5 役員報酬額の決定について 6 職能委員の選任について 7 常任委員の選任について II 平成28年度定時総会の運営等について	・平成28年度定時総会における役員選任の選定を受けてその役割分担等について協議した

第3回	7月12日	<p>議事</p> <p>1 千葉県知事への要望について</p> <p>報告事項</p> <p>1 職務執行状況について (定期報告・事業の進捗状況4月～6月分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理事、監事、施設等会員代表者、地区部会長など各方面からの要望をとりまとめ、県の実施状況等により調整したうえで要望事項を協議・整理した</li> </ul>
第4回	10月14日	<p>議事</p> <p>1 定時総会における役員候補者選出にかかる選挙の取扱いの変更について</p> <p>2 地区部会役員の交代について</p> <p>報告事項</p> <p>1 千葉県知事への要望について</p> <p>2 日本看護協会理事会報告等について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定時総会における選挙実施方法に関する変更について協議した</li> </ul>
第5回	12月1日	<p>議事</p> <p>1 平成28年度千葉県看護協会の収支予算の変更（補正予算）について</p> <p>2 平成29年度千葉県看護協会事業の重点項目・重点事業について</p> <p>3 地区部会役員の交代について</p> <p>報告事項</p> <p>1 平成28年度上期監事監査報告</p> <p>2 職務執行状況について (定期報告・事業の進捗状況4月～10月分)</p> <p>3 平成29年度役員・推薦委員の改選について</p> <p>4 日本看護協会理事会報告等について</p> <p>5 常任委員会報告について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度の補正予算について協議した</li> <li>・重点項目・事項の枠組み（案）について協議した</li> </ul>
第6回	平成29年 2月15日	<p>議事</p> <p>1 平成29年度事業計画について</p> <p>2 平成29年度生涯教育研修計画について</p> <p>3 平成29年度予算、資金調達・設備投資の見込みについて</p> <p>4 平成29年度における千葉県看護協会の運営について（組織体制・運営体制等について）</p> <p>5 平成29年度定時総会の招集について</p> <p>6 災害対策委員会(特別委員会)の設置及び運営規程について</p> <p>報告事項</p> <p>1 平成29年度重点項目・重点事業について</p> <p>2 平成29年度の役員・推薦委員の改選数の変更について</p> <p>3 職能委員会活動報告について</p> <p>4 緊急の訪問看護時における「電話による駐車許可事務取扱い」について</p> <p>5 日本看護協会理事会報告等について</p> <p>6 平成29年度千葉県看護協会年間行事予定について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度事業計画・予算について協議した</li> <li>・平成29年度における協会運営（組織体制・運営体制）について協議した</li> </ul>

# 施設等会員代表者会報告

専務理事 澤田 いつ子

回数	開催日	場所	内容
第1回	平成28年 7月20日	ホテルポート プラザちば 2階ロイヤル	<p>表彰等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カンゴサウルス賞表彰</li> <li>・看護職のワーク・ライフ・バランス推進事業修了証交付</li> <li>・「看護体験記表彰・発表」</li> </ul> <p>議事</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 公益社団法人千葉県看護協会 第4次看護職定着・確保推進計画について</li> <li>2 平成28年度千葉県看護協会の事業計画について</li> </ol> <p>講話 「夜勤専従勤務の労務管理の留意点」 講師 千葉労働局雇用環境・均等室 働き方・休み方改善コンサルタント 坂上 和芳 氏</p> <p>講演 「DiNQL事業について」 (平成28年度労働と看護の質向上のためのデータベース事業) 講師 公益社団法人日本看護協会 常任理事 川本利恵子 氏 座長 公益社団法人千葉県看護協会 副会長 石渡 祥子</p>
第2回	平成29年 1月24日	ホテルポート プラザちば 2階ロイヤル	<p>議事</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 平成28年度事業の進捗状況について 平成28年度看護職定着確保動向調査結果(看護管理者)</li> <li>2 職能委員会活動の進捗状況について</li> <li>3 平成29年度重点項目・重点事業について</li> <li>4 質疑応答等</li> </ol> <p>講演 「平成28年度診療報酬改定の概要と看護管理者の役割」 講師 公益社団法人 日本看護協会 常任理事 福井トシ子 氏 座長 公益社団法人 千葉県看護協会 副会長 石渡 祥子</p>

# 地区部会長会報告

専務理事 澤田 いつ子

## I 平成28年度 地区部会長会

回数	開催日	内容
第1回	平成28年 7月26日	I 議題 1 平成28年度千葉県看護協会の体制について (1) 千葉県看護協定会款及び関連諸規程について (2) 千葉県看護協会の組織・運営について ①組織機構図・組織運営図について ②役員の職務と担当職域について ③理事・監事事務分掌について ④事務局体制について (3) 事業計画・年間計画について 2 地区部会活動について (1) 地区部会活動の役割等について (2) 地区部会の円滑な実施（事務処理等の取扱い）について (3) 平成27年度地区部会活動報告について (4) 平成28年度地区部会活動年間事業計画について 3 意見交換 4 その他（事務局からの連絡事項・お願い）
第2回	平成29年 2月9日	I 議題 1 平成29年度千葉県看護協会事業計画（重点項目・重点事業）について 2 地区部会に関わる事業の推進について 3 意見交換 II その他 協会からの連絡事項等

## II 平成28年度 地区部会会計に係る説明会

回数	開催日	内容
第1回	平成28年 4月21日	I 説明 1 地区部会事業の概要について 2 平成28年度地区部会に係る会計処理について 3 その他 II 質疑

---

---

# 職 能 委 員 会 報 告

---

---

## 保 健 師 職 能 委 員 会

委員長 石 井 市 枝

### I 活動目標

- 1 保健師の活動強化と活動領域を超えた保健師のネットワークの推進
- 2 会員数を増やし、保健師職能の組織力のアップを図る

### II 活動内容

#### 1 保健師関係団体との情報交換会

- (1) 日 時 平成28年7月8日（金）
- (2) 参加者 6団体 千葉県健康づくり支援課、千葉市市町村保健活動連絡協議会、千葉県保健師会、全国保健師長会千葉県支部、千葉県公衆衛生看護学教育連絡会議、千葉県看護協会保健師職能委員会
- (3) 結 果 参加者のメーリングリストの作成と、年1回情報交換の機会を持つこととなった。

#### 2 自治体（市町村）保健師へのアンケート調査

保健師職能委員会では、研修等の開催を通して保健師の資質向上と保健師間の連携を強化するための交流・ネットワークづくりを進めている。

しかしながら、会員増がなかなか進まずに、思うような成果を出せない状況にある。

そこで、会員、非会員を問わず、看護協会に加入しない理由や看護協会に対する意見等を把握し、今後の活動の参考とすることを目的に、アンケート調査を実施した。

- (1) 目 的 ① アンケートを通して看護協会の活動について知っていただく。  
② 看護協会へ加入しない理由（課題）等を把握し、会員増への方策を検討する。
- (2) 調査対象 千葉市市町村保健師
- (3) 調査期間 平成28年9月
- (4) 調査方法 全市町村に対し、就業保健師数分の調査票を郵送し、代表者がまとめ返送
- (5) 結果概要
  - ① 回収 527名（回収率 43.4%）
  - ② 回答者の属性  
年齢構成では、40歳代が177名（33.6%）と最も多く、次いで30歳代171名（32.4%）であった。  
看護協会へ加入しているのは63名（12.0%）、未加入は464名（88.0%）であった。
  - ③ 看護協会について、よく知っていた100名（19.0%）、一部知っていた337名（63.9%）であり、8割以上が、知っていた。なお、あまり知らなかった77名（14.6%）、知らなかった13名（2.5%）であった。
  - ④ 加入したきっかけ（複数回答）は、協会の活動に興味があった7名、会員になることでメリットがあると思えた20名、職場で勧められた32名、入会が当然と思った19名であった。  
その他の意見としては、職能団体として組織力を高めるため加入が必要と思った。直接メリットが感じられなくても大きな意味で、保健師の地位向上などのために動いてくださっている。職能の集まりへ



の参加がしなかったため。専門職の発展、情報が得られる。准看護師制度廃止に向けての投資。管理職として、病院の管理者と接する機会が多いため等であった。

- ⑤ 会員になって良かったこと（複数回答）として、職能団体としての活動・役割の意義が見出せた18名、看護師・保健師等に関する情報を得ることができた39名、研修参加・福利厚生（クラブオフ めーるナビ）などのメリットがあった21名、他の会員との交流ができた12名であったが、一方特になしと回答した者も15名いた。

その他、訴訟保険があることや自身は直接職能団体に関する活動はしていないが、ニュース等で有益な活動をされていてよかったと思っているといった意見があった。

- ⑥ 未加入の理由は、協会の活動に興味がない57名、メリットが感じられない250名、会費が高い225名であり、その他、職場で代表者が加入しているため。業務が忙しく参加できない。職場を変えたことをきっかけに、周囲が加入していなかったため。加入するタイミングがなかった等であった。
- ⑦ 加入を検討するための、協会への要望については、保健師が参加できる研修を増やしてほしい242名（46%）、会員になることで得られるメリットを教えて欲しい190名（36.1%）、ニュースレターやメールなどで協会の活動を知らせて欲しい52名（9.9%）であった。その他、会費の減額、会費の使途、保健師活動や業務に関する最新情報の提供等であった。

(6) 今後に向けて

看護協会及び保健師職能委員会の役割や活動内容が十分に理解されていないことがわかった。また、保健師が参加できる研修を増やしてほしいという要望が多かったことについては、他の保健師関係団体との連携を図り、研修を含めた情報交換や事業の調整等を図っていく必要がある。

以上について、保健師職能委員会で検討し、次年度以降の事業計画に活かしていく。

### 3 保健師活動交流会

- (1) 日 時 平成28年11月26日（土）午後1時30分～4時30分  
(2) 会 場 千葉県看護会館 2階中研修室  
(3) テーマ 「アンガーマネジメント（怒りのコントロール方法）」  
(4) ねらい

現代社会は、様々な場面でストレスを感じることもあり、そのことにより思わず怒りの感情を持つことになり、人間関係や仕事に支障が出ることがある。

そこで、アンガーマネジメントを学ぶ事によって、自分自身の怒りを理解し、コントロールしたり、癒したり、ポジティブなものへ変換させたりと、職場での問題解決、友人や人間関係全般に関係するあらゆる物事に良い循環が生まれる事をねらいとする。

- (5) 参加者 32名

(6) 内 容

- ① 講演 「アンガーマネジメント（怒りのコントロール方法）」  
講師 日本アンガーマネジメント協会 嶋田 真由美氏  
② ワールドカフェ形式による交流（意見交換・情報交換）

(7) 総 括

アンガーマネジメントとは、単に怒らないということではなく、怒る必要のあることは上手に怒れる、怒る必要のないことは怒らないようになることであり、衝動のコントロール、思考のコントロール、行動のコントロールの3つの暗号があること。また、怒りには、①強度が高い、②持続性がある、③頻度が高い、④攻撃性がある、という4つの問題となる怒りがあることなどが講師から話された。

参加者からは、講演については、怒りのメカニズムを理解することができた。アンガーマネジメントを仕事と家庭に生かせるよう訓練したい。身近に考えられるテーマだったので、とても役に立った。公私ともに生かせるテーマで大変勉強になった。自分自身の怒りをまずマネジメントとすることで、支援につなげたい。怒りの意味を理解することで、苦しくならずに対応できるように思った。等の意見が聞かれた。ワールドカフェでは、怒りを持つ人への対応の仕方が話し合えた。また、最近の若者像、環境が良くわかり参考になった等の意見が聞かれた。全体を通して、時間が短く感じられた。情報交換の場にもなって、楽しみながら勉強できた。等の肯定的な意見が聞かれ、会のねらいは達成できたと思われる。

#### 4 保健師職能集会

(1) 日 時 平成29年2月26日 (日) 午後1時30分～4時30分

(2) 会 場 千葉県看護会館 2階大研修室

(3) テーマ 「そうだ！事例検討をやろう！

"実践力UP事例検討会"～見て・考え・理解して～

(4) ねらい

保健師には、近年増加しつつある個別性の高い複雑・支援困難な事例への対応が求められている。これらの事例を共有し、チームで支えていく支援が今後ますます必要であるが、事例を共有する方法として事例検討が有効と言われている。

しかし、これまでの事例検討は、①準備が大変②事例の担当者の判断や行動をチェックする場になっている③一方的に助言をもらう機会になっている等の意見が聞かれることから、対象理解を深め、次の具体的な支援に生かすための事例検討会として、日本看護協会が開発した"実践力アップ事例検討会"の手法を理解し、よりよい支援に結び付ける事をねらいとする。

(5) 参加者： 22名

(6) 内 容

① 講演 「そうだ！事例検討会をやってみよう！

"実践力UP事例検討会"～みて・考え・理解して～

講師 日本看護協会 佐藤睦子 氏

② 事例検討

③ 講 評

(7) 総 括

平成25年度に日本看護協会が作成し、普及を図ってきた「そうだ！事例検討会をやってみよう！"実践力UP事例検討会"～みて・考え・理解して～」について、講師による講演のあと3班に分かれてそれぞれの事例を検討した。本事例検討は、事例の概要のみを提供者がまとめて検討の場で板書に様々な情報等を書き込んでいくという特徴がある。

参加者からは、様々なキャリアの人がいることで、いろいろな意見がでてよかった。今までは起こったこと（過去）の事例検討が多かったが、現在進行形の事例検討は今後につながることがよくわかった。様々な所属、年齢の保健師が事例について検討すると多角的な意見が多く、とても勉強になりました。いつも口頭で相談はしていますが、文字として書き出してみると内容が整理され行き詰っていたことについて、解決の糸が見えたような気がします。ディスカッションを通し、アセスメント、目標へとつながるのが素晴らしいと思った。様々な面から考える必要があるため、多人数で意見を交わしていくことで、より多様なプランを考えられることを実感した。等の意見が聞かれた。

さらに、事例検討を職場で実施したいと思っていましたが、事例を出すことすら大変といわれできませ

んでした。教えていただいた方法だと気軽にできそうなので実施してみたい。所属の違う方々との事例検討はとても役立った。実践では、保健師のみで行っているが、広げていけたらいいと思った。児童相談所のケース会議でも使いたい。事例検討は、定例で年1回位実施してもよいのではないか。等、今後活用の方が広がっていく期待が持てました。

5 保健師職能だよりの発行

平成28年度秋号

平成28年度初春号

6 その他

- ① 千葉県看護協会ホームページの各職能委員会情報の充実について、他の職能委員長と検討を実施

Ⅲ 保健師職能委員会開催状況

回数	開催月日	議 題	内 容
第1回	平成28年 6月27日	1. 自治体保健師に対する調査について 2. 保健師関係団体との情報交換会について 3. 保健師職能集会・交流会について	・調査内容、方法等の検討 ・保健師関係団体との情報交換の進め方等について ・保健師職能集会・交流会の内容の検討
第2回	8月25日	1. 保健師職能集会・交流会について 2. 情報共有、連絡事項	・保健師職能集会・交流会の詳細検討 ・情報共有、連絡事項 全国職能委員長会議結果 保健師関係団体との情報交換会の結果
第3回	10月25日	1. 保健師職能集会・交流会について 2. ホームページの効果的な活用について	・保健師交流会の準備 ・保健師職能集会の詳細検討 ・県看護協会ホームページの効果的な活用についての意見交換
第4回	平成29年 1月17日	1. 保健師職能集会について 2. 自治体保健師へのアンケート結果	・保健師職能集会の準備 ・保健師活動交流会結果報告、評価 ・自治体保健師へのアンケート結果について
第5回	4月17日	1. 保健師関係研修について 2. 次年度計画について 3. 地区別職能委員長会議報告	・保健師関係研修内容の検討 ・次年度計画の検討 ・地区別保健師職能委員長会議報告 ・総会資料等の確認（職能集会の結果報告、評価含む）
	(11月 中旬) (1月 下旬) (2月 下旬)	1. メール会議	・保健師職能だよりの検討 保健師交流会案内 職能集会案内 ・「看護ちば」の原稿について

#### IV 保健師職能委員会活動計画

項目	内容	
活動目的	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保健師の活動強化と活動領域を超えた保健師のネットワークの推進</li> <li>2. 会員数を増やし、保健師職能の組織力のアップを図る</li> </ol>	
委員会 開催予定	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保健師職能委員会 年6回</li> <li>2. 三職能合同委員会</li> </ol>	
検討事項	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保健師の活動強化 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 保健師職能集会の開催</li> <li>(2) 関係機関との情報交換会の開催</li> <li>(3) 日本看護協会（保健師職能委員会）との連携</li> </ol> </li> <li>2. 活動領域を超えた保健師のネットワークの推進 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 活動交流会の開催</li> <li>(2) 関係機関との情報交換会の開催</li> </ol> </li> <li>3. 会員数を増やし、保健師職能の組織力アップを図る <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 保健師職能だよりの発行</li> <li>(2) 加入案内チラシの作成・配布</li> <li>(3) 保健師新規採用自治体等への勧誘活動</li> <li>(4) 看護協会ホームページの活用</li> </ol> </li> </ol>	
職能集会	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 前年度活動実績報告</li> <li>2. 本年度活動方針について報告</li> <li>3. 講演会又はシンポジウム等の開催</li> <li>4. 意見交換・情報交換</li> </ol>	
交流会	活動領域を超えた保健師との交流会の開催 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 講演会又はシンポジウム等の開催</li> <li>2. ワールドカフェ</li> </ol>	
三職能合 同委員会	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 三職能共通の課題の検討</li> </ol>	
その他	日本看護協会	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 千葉県看護協会保健師職能委員会活動状況報告</li> <li>2. 日本看護協会総会（全国保健師職能集会）</li> <li>3. 都道府県職能委員長会議 年2回</li> <li>4. 地区別法人会委員会・都道府県職能委員長会 年1回</li> </ol>
	印刷物	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保健師職能だより</li> <li>2. 職能集会資料</li> </ol>
	その他	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 千葉県看護協会事業への参加・協力</li> <li>2. 千葉県小児保健協会への参画</li> </ol>

参加無料

## 保健師活動交流会のお知らせ

日時 平成28年11月26日(土)午後1時30分～午後4時15分  
(受付午後1時～)

場所 千葉県看護協会 千葉県美浜区新港249-4

内容 ○講演「アンガーマネジメント(怒りのコントロール方法)」  
～職場でイライラせず効率的に仕事ができるように。人間関係でトラブルにならないように。そして、母子保健活動に生かせるように～

講師 日本アンガーマネジメント協会  
島田 真由美 (ワイエムオフィス株式会社 子育て支援団体 Sunny 代表)

※講師は、世田谷区で子育て中の保護者向け「アンガーマネジメント入門講座」  
を開催中 母子保健活動の参考に・・・

○情報交換会(ワールドカフェ形式)

お申し込みは下記に記入の上、FAXにて11月18日(金)までに♪

FA 番号 043-248-7246 千葉県看護協会 保健師職能委員会 あて

参加申込書(11月26日 交流会)

氏名	所属	連絡先

裏面もご覧ください。



## 看護協会「保健師職能」って、どんなことをしているの？

千葉県看護協会は、県内の保健師、助産師、看護師、准看護師で構成する看護職の団体です。保健・医療・福祉の分野に広く貢献し、よりよい看護を提供するために日々活動する看護職を支援しています。

職能団体としての会員数を確保し、一人ひとりの力や声を看護協会に届けることで、看護協会が看護職全体の声とし、県や国、社会に働きかけていくことで改善へと進めることができます。

保健師職能では、やりがいをもって保健師のキャリアを重ねていけるように、様々な事業の展開と、会員の皆様の意見集約や課題の整理に取り組みとともに、保健師の連携強化・ネットワークの構築を推進しています。

さらに、日本看護協会保健師職能と連携し、保健師活動指針の普及、統括保健師の配置の促進等日本全体の保健師職能の活動強化にも取り組んでいます。

## 会員サービス

- ・機関紙「協会ニュース」日本看護協会発行(月1回)、「看護らび」千葉県看護協会発行(年4回)による情報提供
- ・千葉県看護協会クラブオフ(会員福祉厚生サービス)の利用
- ・看護協会主催の各種研修会、講習会、学会等への参加、図書室の利用
- ・看護職賠償責任保険への加入

## 平成28年度の保健師職能委員会は・・・

以下の活動に取り組んでいます。

- 1 保健師の資質向上と連携を強化するためのネットワークづくり(保健師職能集会・交流会の開催等)
- 2 統括的な役割を果たす保健師の配置の推進
- 3 会員数を増やし、保健師職能の組織力のアップを図る(職能委員会活動の周知、保健師職能だよりの発行等)

**委員紹介** 今年度は、この7名で陣容ります。よろしくお願いたします。  
委員長 石井市枝(君津健康福祉センター)  
副委員長 阿部有子(千葉県立保健医療大学)  
委員 藤巻美子(松戸健康福祉センター)  
堀野好美(浦安市 内閣府こども・子育て本部派遣)  
平塚百合子(市原市)  
吉住次恵(一般財団法人君津健康センター)  
吉水雅子(千葉県健康福祉部健康福祉政策課)

参加無料

## 保健師職能集会(研修会)のお知らせ

テーマ

そうだ! 事例検討会をやってみよう!

“実践力UP 事例検討会”～みて・考え・理解して～

講師 日本看護協会保健師課 佐藤睦子 氏(元杏林大学准教授)  
日時 平成29年2月26日(日)  
午後1時30分～午後4時30分(受付開始午後1時)  
場所 千葉県看護協会 2階大研修室  
対象 保健師

《ねらい》

保健師には、近年増加しつつある個別性の高い複雑・支援困難な事例への対応が求められており、チームで支えていく支援が必要です。そのためには、事例を共有することが重要です。

対象の理解を深め、次の具体的な支援に生かすための事例検討会として、“実践力アップ事例検討会”の手法を理解し、よりよい支援に結び付ける事をねらいます。

★ 事例検討会は、保健師の人材育成や支援者間のエンパワメントにもつながる高いパフォーマンスを生み出すものと考えます。

★ 多くの皆様の参加をお待ちしています。

★ ふるってご参加ください。

**参加申し込みは、裏面の「参加申込書」で!**

## 看護協会について

日本看護協会並びに千葉県看護協会は、

- ① 保健師の質の向上(研修・学会の共催等)
  - ② 働き続けられる環境づくり(看護職賠償責任保険制度の運営等)
  - ③ 保健師活動の展開(政策の提言と実現に向けた活動、災害看護と東日本大震災復興支援事業、国際交流・協力、広報活動等)
- 等の活動を行っています。

千葉県看護協会 電話043-245-1744

# 助産師職能委員会

委員長 大澤 豊子

## I 活動目標

1. 県民の安全かつ安心な妊娠・出産・育児をめざし、助産師が実践能力を高め、その専門性を発揮できるように支援する。
2. 会員相互の情報交換を図り、県内産科医療施設間の連携を強化する。

## II 活動内容

### 1. 助産師職能集会

日時：平成28年10月21日（金）13:00～16:30

場所：千葉県看護会館 2階中研修室

テーマ：ウィメンズヘルスケア能力の強化

～周産期における感染症の最新情報と思春期健康教育の実際～

趣旨：少子高齢化や限られた医療資源のもとで国の施策としてチーム医療が推進されている。助産師は女性の一生に寄り添う専門職であり、女性の健康と性と生殖に関する健康や育児を含む、女性とその家族や地域に対する健康相談や教育を行う役割が期待されている。平成28年度日本看護協会助産関連事業の重点政策・重点事業として『助産実践能力強化のための教育体制整備』が挙げられている。今回の助産師職能集会では、助産師のウィメンズヘルスケア能力強化のため、「周産期における感染症の最新情報と思春期健康教育の実際」の講演を行うと共に、情報交換を行った。

内容：講演「周産期における感染症の最新情報」

講師：帝京平成大学 川名 尚教授

「思春期健康教育の実際」

講師：帝京平成大学 大澤豊子教授

グループディスカッション

テーマ：「本日のテーマに関する、今後の展望」

### ◆ 平成28年度 助産師職能集会アンケート 集計結果

参加者数 27名

アンケート回収数 24名（回収率89%）

#### 1) 年齢

20代	30代	40代	50代	60代
4名	5名	9名	5名	1名

#### 2) 勤務先の種類

総合病院(産科単科)	総合病院(産科混合)	産科診療所	助産師養成機関	その他
5名	15名	0名	2名	2名

#### 3) 職位

看護部長	副看護部長	師長	主任	スタッフ	教員	無回答
0名	0名	6名	2名	13名	2名	1名

## 4) 職位経験年数

1～3年	4～6年	7～10年	11～15年	16年以上	無回答
4名	1名	2名	3名	13名	1名

## 5) 開催時期は適当か

はい	いいえ
24名	0名

## 理由

- ・初めての参加でよくわかりませんが、適当な時期であった。
- ・早い時期から決まっていたので、勤務の都合がつきやすかった。
- ・早すぎず遅すぎず、下半期に向けての自己の課題を見出せそうな気がした。

## 6) 講演の満足度

満足	やや満足	やや不満	不満
20名	4名	0名	0名

## 理由

- ・川名先生の講演をもっと聞きたかった。
- ・川名先生の話が分かりやすかった。
- ・現状と助産師の役割などを考えながら聴くことができた。
- ・最新の感染状況を知れた。

## 7) グループディスカッションの満足度

満足	やや満足	やや不満	不満
13名	7名	1名	0名

## 理由

- ・色々な病院の人の意見が聞けて良かった。
- ・それより川名先生の講義を聞きたかった。
- ・沢山の話が聞けて良かった。
- ・他病院の方とお話しできて良かった。

## 8) 全体（講演・全体討議）を通して、今後の看護実践に活かせる内容構成だったか

満足	やや満足	やや不満	不満
16名	8名	0名	0名

## 理由

- ・今の自分がすぐ行えることとそうでないことがあるが活かせるよう努力したい。
- ・大澤先生のお話しも、とても楽しく聴講させていただいた。
- ・情報交換の大切さを感じた。
- ・他施設の様子が分かった。

## 9) 今回の職能集会では、他施設の方との交流の場になったか

はい	いいえ	どちらでもない
20名	1名	2名

## 10) 今後職能集会や交流会で取り上げてほしいテーマは何か

- ・クリニカルラダーを継続するためには何が必要か
- ・卒後教育
- ・それぞれの施設での取り組み

- ・未受診妊婦
- ・メンタルヘルス
- ・もっと感染症について聞きたかった

11) 助産師職能委員会に対する要望等

- ・記載なし

2. 産科管理者交流会

日 時：平成28年12月16日（金）10:00～16:00

場 所：千葉県看護会館 2階中研修室

テーマ：「助産に関連した倫理」「産科医療補償制度」

趣 旨：平成27年8月より「助産実践能力習熟段階（クリニカルラダー/CLoCMiP）レベルⅢ認証制度」がスタートした。昨年度の産科管理者交流会において、「ラダーⅢ認証関連の講演などを実施してほしい」というご意見が多数寄せられたため、産科管理者から伝達という形で施設内での研修企画に活かせる「助産に関連した倫理」についての講演を企画した。また平成27年1月の産科医療補償制度改訂に伴い、新たな基準を再確認し、後半は事例検討を行い、知識を深めた。

内 容：講演「助産に関連した倫理」

講師：帝京科学大学 齋藤益子教授

講演「産科医療補償制度」

講師：神奈川県立保健福祉大学 村上明美教授

◆ 平成28年度 産科管理者交流会アンケート 集計結果

参加者数 28名（うち2名は講演のみ、1名はグループディスカッションのみの参加）

アンケート回収数 28名（回収率100%）

1) 年齢

30代	40代	50代	60代	無回答
4名	13名	9名	1名	1名

2) 勤務先の種類

総合病院(産科単科)	総合病院(産科混合)	産科診療所	助産師養成機関	その他
5名	21名	0名	2名	0名

3) 職種

助産師	看護師	保健師
27名	1名	0名

4) 職位

看護部長	副看護部長	師長	主任	スタッフ	教員	無回答
0名	0名	16名	7名	2名	2名	1名

5) 職位経験年数

1年未満	1～5年	6～10年	11～15年	16年以上	無回答
5名	8名	5名	2名	7名	1名

6) 開催時期は適当か

はい	いいえ
23名	5名



理由：はい

- ・年末なら、今が限界。10時開始だと余裕を持って来ることができる。
- ・1日通して、ゆっくり学べるからありがたい。

理由：いいえ

- ・翌日に「千葉県周産期新生児研究会」があるため、連日は困る。
- ・1日は長い
- ・年末でほかの行事との調整が困難だった。
- ・下半期に向けて活動するためには、もう少し早い方がよい。(2名)

#### 7) 講演の満足度

満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
22名	3名	1名	0名	2名

理由：満足・やや満足

- ・具体的で解りやすかった。(2名)
- ・どちらも興味深く現場で活かせる内容だった。(2名)
- ・産科補償制度を知り、リスク管理につなげたい。
- ・やるべきことの明確化ができた。
- ・最前線で活躍している方の話が聴けてよかった。
- ・自己の課題と合致していた。
- ・自己事例と向き合っているため、参考になった。

理由：やや不満

- ・答えがない。

#### 8) グループディスカッションの満足度

満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
23名	3名	0名	0名	2名

理由：満足・やや満足

- ・事例検討をすることで、今後の課題が明確になった。(3名)
- ・同じ思いを抱えている人と交流できてよかった。(2名)
- ・参加者の意見が聴けてよかった。
- ・日々の振り返りができたが、事例検討の時間が短かった。

#### 9) 全体を通して、今後の助産師活動に活かされたか

とても活かせる	やや活かせる	あまり活かせない	活かせない	無回答
24名	0名	0名	0名	4名

理由：とても活かせる

- ・具体的で解りやすく、伝達したいと思った。(4名)
- ・リスクマネジメントをしながら、助産師として声を上げていきたい。
- ・課題が明確になった。
- ・事例検討の必要性を感じた。
- ・助産師のアセスメント能力と記録の重要性が分った。
- ・交流のきっかけにするため、出席者の名簿が欲しかった。

10) 今回の交流会を何で知ったか

千葉県看護協会からの通知	上司の勧め	助産師職能だより	知人からの情報	その他
17名	8名	3名	0名	0名

11) 取りあげてほしいテーマ

- ・産後ケア（3名）
- ・新人助産師教育（2名）
- ・産科補償制度（2名）
- ・混合病棟における助産師の育成
- ・異動する助産師のモチベーションを保つ工夫
- ・スタッフ間のコミュニケーションの取り方
- ・ラダーの活用
- ・妊産褥婦のメンタルヘルス
- ・助産診断
- ・思春期教育・性教育
- ・院内助産、オープンシステム
- ・マタニティクラス
- ・地域連携
- ・災害対策
- ・産科の看護管理
- ・管理者に求められる社会情勢などの知識
- ・必要人数の算出方法や業務量、必要人数の関係
- ・専門性を発揮するための各施設の取組みと中央から助産師に向けてのアプローチ



12) 今年度から発行を始めた「助産師職能だより」を知っているか

はい	いいえ	無回答
19名	8名	1名

13) 助産師職能ホームページに掲載してほしい内容

- ・産科関連の研修情報の発信

14) 助産師職能から千葉県看護協会に提言してほしい内容

- ・助産師向けの研修の充実
- ・産科単科が理想

総括：参加者数は、前年度より2名増加したが、診療所からの参加はなかった。

参加者の満足度は高く、すべての参加者が「今後の活動に活かせる」と回答していた。CLoCMipレベルⅢの推進や、産科におけるリスクマネジメントに活用できるテーマであることから、産科管理者のニーズに合っていたと思われる。

今後、取り上げてほしいテーマは、例年以上に多岐に渡っている。社会情勢の変化や助産師が社会から求められる役割に対する、産科管理者の関心の高さがうかがえる結果となった。

千葉県における分娩件数は、診療所が50%を占めている。しかし、助産師の就業先は病院50%、診療所25%となっており、助産師の就業先の偏在によって、助産師のケアを受けられない妊産褥婦、新生児、および家族が存在する。そのため、今後は、診療所の管理者の参加に向けて取り組む必要がある。

開催時期については、今年度は、講師の都合により開催時期を決定したが、次年度は1～2か月の前倒しでの開催も検討が必要である。

### 3. 中堅助産師交流会

日 時：平成29年1月30日（月）13:00～16:30

場 所：千葉県看護会館 2階中研修室

テーマ：NICU/GCUから退院する児とその家族への退院支援

～妊娠期から育児期まで安全・安心で切れ目のないケアをめざして～

趣 旨：昨今の晩婚・晩産化による母体合併症や不妊治療の増加などにより、NICU/GCUに入院する新生児は増加の一途をたどっている。児のNICU/GCU入院中はもとより、退院後の育児について、母親や家族は様々な不安や問題を抱えているのが現状である。

今年度、国の施策としてチーム医療が推進されており、平成28年度日本看護協会助産関連事業の重点事業として「子供・子育て世代の地域包括ケアのモデル推進事業」が挙げられていた。今回の中堅助産師交流会では、「NICU/GCUから退院する児とその家族への退院支援」をテーマとし、退院する児や家族への支援について取組状況や課題についての情報交換を行った。内容としては、NICU/GCUで勤務する助産師、新生児集中ケア認定看護師、地域保健師によるシンポジウムを行うとともに、課題解決に向けた支援策や多職種連携・協働について意見交換を行った。

シンポジスト：亀田総合病院周産期センター師長 吉田広美氏  
 船橋中央病院NICU新生児集中ケア認定看護師 関 梨奈氏  
 大多喜町健康福祉課保健予防係 保健師 畔田絵梨氏

#### ◆平成28年度 中堅助産師交流会 アンケート結果

参加者数 27名

アンケート回収数 27名（回収率100%）

##### 1) 年齢

20代	30代	40代	50代	60代
3名	10名	12名	2名	0名

##### 2) 勤務先の種類

総合病院(産科単科)	総合病院(産科混合)	総合病院産科外来	産科個人病院・診療所	助産師養成機関	その他
4名	16名	1名	4名	0名	2名

##### 3) 職位

師長	主任	副主任	スタッフ	教員	その他
0名	4名	2名	21名	0名	0名

##### 4) 助産師経験年数

1～3年	4～6年	7～10年	11～15年	16年以上	無回答
1名	6名	7名	5名	7名	1名

##### 5) 開催時期は適当か

はい	いいえ	無回答
25名	1名	1名

理由：いいえ

・年度初めの方が、出席しやすい。

##### 6) シンポジウムの満足度

満足	やや満足	やや不満	不満
25名	2名	0名	0名

理由：満足

- ・他院、他職種の活動の実際が聞けてよかった。(8)
- ・NICUの無い施設なので、いろいろ聞けてよかった。(5)
- ・地域と連携する重要性が理解できた。(3)
- ・保健師の守備範囲の大きさに驚いた。
- ・気軽に聞けて、聞きやすかった。

7) グループディスカッションの満足度

満足	やや満足	やや不満	不満
22名	5名	0名	0名

理由：満足

- ・他施設の情報が聞けてよかった。自施設に取り入れたい。(9)
- ・いろいろな話が聞けて、楽しかった。(2)
- ・皆、同じような悩みを持っているとわかった。(3)

理由：やや満足

- ・他施設の情報が聞けてよかった。(3)
- ・ディスカッションの時間が短いと思った。
- ・グループメンバーが、全員NICUを持たない施設の人だったので残念だった。

8) 全体を通して、今後の助産師活動に活かせるか

とても活かせる	やや活かせる	あまり活かせない	活かせない	無回答
19名	7名	0名	0名	1名

理由：とても活かせる

- ・いろいろな話が聞けてよかった。自施設で活かしたい。(4)
- ・他職種との連携など、新しいことを、たくさん知ることができた。
- ・他部門、地域との風通しをよくしたい。連携に全力を注ぎたい。
- ・産科休止中なので、勉強になった。
- ・産後ケアについて、知ることができた。
- ・シンポジウムの保健師の事例がとても個別性があり、病棟でも実践したい。

9) 助産師職能ホームページに掲載してほしい内容

記載なし

10) 取りあげてほしいテーマ

- ・地域連携について
- ・病棟・外来の一元化
- ・助産師教育・新人教育
- ・助産師と医師との関係
- ・院内助産
- ・産後入院
- ・NICUの臨床心理士の活動の実際
- ・NICUに勤務する助産師との交流
- ・千葉県分娩の状況（産科を休止している施設の現状）
- ・妊娠糖尿病・妊娠高血圧症候群の管理

#### 11) 助産師職能委員会に対する要望

- ・このような研修を増やしてほしい。

総括：参加者の満足度は高く、「やや満足」を含めると、シンポジウム・グループディスカッションとも、すべての参加者が満足と回答していた。

グループディスカッションでは、今後の地域連携への効果を期待して、同じ医療圏の参加者をグループメンバーとするように調整した。しかし、全員がNICUを持たない施設に勤務しているメンバーというグループがあり、NICUとの連携については、十分に討議できていなかった。テーマの内容により、申し込みの時点で、参加者の属性を確認しておく事や、ワールドカフェ方式などを検討する必要があると思われる。



#### 4. 「国際助産師の日」企画・開催

日 時：平成28年5月14日（土）13:00～16:00

会 場：ユニモちはら台

内 容：今年度の『看護の日』のテーマに合わせ、『地域で輪となりつなげる看護』のテーマのもと、市原地区部会と合同で開催した。産科施設紹介に加えて、沐浴体験、マタニティ体験、思春期教育グッズの紹介（子宮モデル・胎児モデル）、助産師活動の紹介、進路相談を行った。親子連れの参加が多く、胎児モデルに興味を持つ子供が多かった。また、母親が子供に出産時の思い出を語る微笑ましい風景があり、親子で妊娠・出産について語り合うきっかけを提供する場となっていた。

項目	妊婦体験	沐浴体験	赤ちゃん抱っこ	胎児モデル展示	進路相談	産科施設紹介	総数
人数	52名	31名	60名	215名	7名	18名	383名



#### 5. 「助産師が自立して助産ケアを行う体制づくり

ー助産師外来・院内助産のための助産マニュアルー

助産外来・院内助産にむけた実践能力の標準化と質の向上に向けて、妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期別のマニュアルを配布し、各施設での活用を呼びかけた。

6. 千葉県看護協会事業への参加・協力

- 1) 通常総会、役員会、理事会、施設代表者会への出席
- 2) 助産師出向支援モデル事業実施への支援

7. 平成28年度千葉県看護協会研修計画への提言

8. 日本看護協会事業への参加・協力

都道府県助産師職能委員会への出席、地区別都道府県助産師職能委員会への出席

Ⅲ. 平成28年度助産師職能委員会開催状況

回数	開催月日	議 題	内 容
第1回	平成28年 7月19日	1. 職能委員会活動についてのオリエンテーション 2. 委員長報告 3. 副委員長選出 4. 平成28年度助産師職能委員会活動計画	・事務局より  ・鈴木委員 ・年間計画、交流会：担当者決定、テーマ、日程、事前アンケート検討プログラム決定、業務分担決定活動マニュアル
第2回	8月2日	1. 第1回全国職能委員会委員長報告 2. 報告事項 3. 助産師職能集会の企画 4. 産科管理者交流会の企画	・会長報告 ・ICM大会 ・地域母子保健に関する課題
第3回	10月21日	1. 助産師職能集会内容確認 2. 産科管理者研修会の内容確認 3. 中堅助産師交流会の企画	・当日役割分担 ・別紙資料提供あり ・テーマ：助産に関連した倫理
第4回	11月4日	1. 産科管理者交流会の内容確認 2. 中堅助産師交流会の内容確認 3. 中間まとめ・平成29年度予算計画	・プログラム・アンケートの確認 ・プログラム・アンケートの検討 ・役割分担
第5回	平成29年 1月30日	1. 産科管理者交流会評価 2. 中堅助産師交流会最終確認 3. 国際助産師の日イベント準備	・アンケート結果の報告 ・プログラム・アンケートの検討 ・開催内容検討
第6回	3月28日	1. 中堅助産師交流会の評価 2. 平成28年度のまとめ 3. 国際助産師の日準備・打ち合わせ 4. 平成29年度活動計画	・アンケート結果の報告  ・開催内容・役割分担確認
第7回	4月25日	1. 国際助産師の日最終確認 2. 平成29年度活動計画調整	・開催内容・役割分担確認

IV. 平成28年度助産師職能委員会 活動計画

項 目	内 容	
活 動 目 標	1. 県民の安全かつ安心な妊娠・出産・育児をめざし、助産師が実践能力を高め、その専門性を発揮できるように支援する。 2. 会員相互の情報交換を図り、県内助産師間の連携を強化する。	
委員会開催予定	1. 助産師職能委員会 年6回程度 2. 三職能合同委員会 年2回	
検討事項及び方法	1. 実践能力の向上 1) 標準化 ①助産師ラダーの推進 2) 質の向上 ①助産師ラダーの普及、推進 ②アドバンス助産師の活動状況の把握 ③助産師出向システム構築の支援 ④教育部への研修に関する提案 2. 専門性の発揮 1) ラダー推進のための研修の提案・提言 2) 子育て世代を対象にした地域包括ケアの推進 3) 妊産婦の災害支援に向けた情報提供 3. 県内の助産師職能の組織力の強化 1) キャリア及び施設の特性に応じた助産師の情報交換と交流の推進 2) ネットワークの構築 3) 助産師だよりの発行、HPの充実 4. 国際助産師の日の企画・運営	
交流会等	1. 産科管理者交流会の企画・開催 2. 新人助産師交流会（新人助産師研修会）への参画 3. 中堅助産師交流会の企画・開催	
職能集会の持ち方	1. 前年度活動報告 2. 本年度活動計画 3. 講演会またはシンポジウム 4. 意見交換	
三職能合同委員会	1. 三職能共通課題の検討 2. 職能集会の開催 3. 職能集会資料の作成	
そ の 他	日本看護協会	1. 千葉県看護協会助産師職能委員会活動状況報告 2. 日本看護協会助産師職能委員会活動に協力 3. 全国助産師職能委員長会議 年2回 4. 地区別法人会・都道府県助産師職能委員長会 年1回
	印刷物等	1. 職能集会資料
	その他	1. 千葉県小児保健協会総会への参画



千葉県看護協会  
助産師職能だより  
平成28年 夏号



**平成28年度 助産師職能委員会活動目標**

1. 県民の安全かつ安心な妊娠・出産・育児をめざし、助産師が実践能力を高め、その専門性を発揮できるよう支援する
2. 会員相互の情報交換を回り、県内助産師間の連携を強化する。

**平成28年度 職能集会・交流会予定**

1. 助産師職能集会 平成28年10月21日(金)  
テーマ:「周産期における感染症の最新情報」「思春期健康教育の実践」
  2. 産科管理者交流会 平成28年12月16日(金)  
テーマ:「助産に関連した倫理」「産科医療補償制度」
  3. 中堅助産師交流会 平成29年1月30日(月)  
テーマ:「NICUから退院する児とその家族の支援」
- \*講師やプログラムの詳細につきましては、別途お知らせいたします。

**助産師職能集会のお知らせ**

妊産婦ケアに欠かせない感染症の最新情報と思春期教育についての講演を行います。県内産科医療施設で働く助産師の交流を回り、お互いの情報交換の場となりますので、ぜひ多くの皆様のご参加をお待ちしております。

日時 平成28年10月21日(金) 13:00~16:30  
場所 千葉県看護協会  
テーマ ウィメンズヘルスケア能力の強化

「周産期における感染症の最新情報」 帝京平成大学 川名 尚 教授  
「思春期健康教育の実践」 帝京平成大学 大澤 豊子 教授

**28年度委員紹介**

- 委員長 大澤 豊子 (帝京平成大学)  
副委員長 鈴木とく子 (船橋中央病院)  
委員 根岸 暢子 (千葉西総合病院)  
小野真由美 (千葉医療センター)  
元吉美津江 (千葉大学病院)  
久保 幸代 (亀田医療大学)

2015年助産実践能力習熟段階  
(クリニカルラー)  
CLOCMIP合格状況  
全国5,562人  
千葉県は184人でした!



千葉県看護協会  
助産師職能だより  
平成28年 冬号



**平成28年度 助産師職能委員会**

**<活動目標>**

1. 県民の安全かつ安心な妊娠・出産・育児をめざし、助産師が実践能力を高め、その専門性を発揮できるよう支援する。
2. 会員相互の情報交換を回り、県内産科医療施設間の連携を強化する。

**中堅助産師交流会のお知らせ**

平成28年度日本看護協会助産師職能事業の重点事業として「子ども・子育て世代の地域包括ケアモデル推進事業」が挙げられています。そこで、今回NICU/GCUから退院する児とその家族への支援についてシンポジウムを開催することになりました。ぜひ、多くの会員の皆様のご参加をお待ちしております。



日時 平成29年1月30日(月) 13:00~16:30  
場所 千葉県看護協会  
テーマ NICU/GCUから退院する児とその家族への退院支援  
講師 亀田総合病院周産期センター-部長 吉田広美氏  
船橋中央病院NICU新生児集中ケア認定看護師 関室奈氏  
大多喜町健康福祉課保健士 保健師 畔田絵奈氏

\*申し込みの方法とプログラムの詳細につきましては、各施設にご案内を送付いたします。

**千葉県看護協会 助産師職能委員会からのお知らせ**

- ◆ 千葉県看護協会助産師職能委員会のHPを開設する予定です。(近日中) 交流会の情報をタイムリーにお知らせいたします。どうぞ、ご利用ください。
- ◆ 平成29年度産科助産師の日を5月13日(土)市原地区で開催することになりました。詳細につきましては、今後HP等でお知らせいたします。
- ◆ 平成28年度熊本地震で被災した妊産婦及び乳幼児に対する支援ポイント(厚生労働省)  
(<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10900000-Daijinkanboukouseikagikuka/0000121960.pdf>)  
・妊産婦を守る情報共有マニュアル(東北大学)  
・災害時妊産婦情報共有マニュアル(東北大学)  
(<http://www.tohoku.ac.jp/japanese/201604/news/20160415-03.html>)  
災害支援について、上記ホームページに掲載されています。ぜひ、ご活用ください。



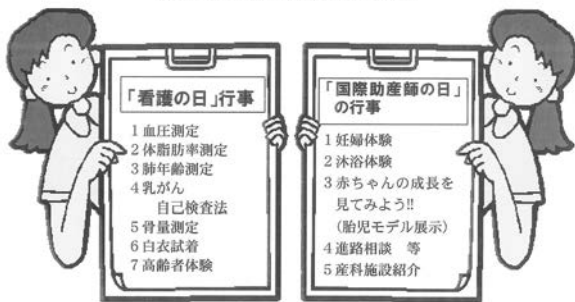
**第26回県民が集う「看護の日」市原地区部会行事**

— 地域で輪となりつなげる看護 —

開催日時:平成28年5月14日(土) 13:00~16:00

会場:ユニモちはら台(市原市ちはら台西3-4)

内容:「看護の日」の行事と「国際助産師の日」の行事を同日開催致します。



後援:市原市  
協賛:東洋羽毛北関東販売株式会社  
ミドリ安全株式会社

参加無料  
事前申込  
不要です。

主催:(公社)千葉県看護協会  
共催:千葉県

後援:千葉県教育委員会、千葉市教育委員会、(公社)千葉県医師会、(一社)千葉県歯科医師会、(一社)千葉県薬剤師会、(一社)千葉県助産師会、(一社)日本精神看護協会、(一社)日本病院会千葉県支部、(公社)全国自治体病院協議会千葉県支部、(一社)千葉県民間病院協会、(一社)千葉県診療放射線技師会、(公社)千葉県栄養士会、日本赤十字社千葉県支部、(公社)ちば県民保健予防財団、(公社)千葉県民生委員児童委員協議会、千葉県訪問看護ステーション連絡協議会、NPO法人千葉県介護支援専門員協議会、(一社)千葉県ホームヘルパー協議会、(社福)千葉県社会福祉協議会、(一社)千葉県老人保健施設協会、(株)千葉日報社、千葉テレビ放送、ベイエフエム

問合せ先 公益社団法人 千葉県看護協会 事業第一課 〒261-0002 千葉市美浜区新港2-4-9-4  
TEL 043-245-0025 FAX 043-248-7246 e-mail: jigyoyu1-5@cna.or.jp



# 看護師職能 I (病院領域) 委員会

委員長 荒木 暁子

## I 活動目標

1. 看護師が専門性を発揮しながらやりがいをもって働き続けることができるよう、看護師職能 I (病院領域) が抱える課題に取り組む。
2. 看護の質向上を図るため、准看護師のスキルアップと進学を支援する。
3. 社会医療制度の動向を知り、看護師職能 I (病院領域) の看護の役割を考え、看護の質向上に向けた検討を行う。

## II 活動内容

### 1. 看護師職能 I (病院領域) 集会

- (1) 日 時 平成28年9月3日 (土) 10:30~16:00
- (2) 会 場 千葉県看護会館
- (3) テーマ 「看護師のクリニカルラダー (日本看護協会版) について」
- (4) ねらい
  - ① 看護師を取り巻く状況と日本看護協会の看護師人材育成の方向性について知る。
  - ② 「看護師のクリニカルラダー (日本看護協会版)」開発の経緯と活用の可能性について知る。
- (5) 参加者数 169名
- (6) 内 容

#### ① 平成27年度活動状況報告並びに平成28年度活動計画

准看護師の教育ニーズへの対応、病院と地域・在宅との連携や退院支援、小児領域の地域包括ケアシステムの構築へ向けてなどについて意見交換がされた。地域との連携については、看護師交流会のテーマでもあり、参加を呼び掛けた。准看護師の教育ニーズに対しては、職能委員会として准看護師交流会において進学支援などを予定している。また、職能委員会の活動が見えにくいという意見もあり、今後予定されているホームページでの発信や報告内容の再検討などの必要性を委員会から回答した。

#### ② 講演「看護師のクリニカルラダー (日本看護協会) について」

講師 公益社団法人日本看護協会看護研修学校教育研究部長 渋谷美香氏

2025年に迎える少子・超高齢・多死社会に向けて暮らしと医療を支える看護提供システムの構築が必要であり、その人がその人らしく地域で暮らすための支援をどのように進めていくのかについて考えて行くことが必要である。このような社会背景の中、看護師の教育において、新人や、専門、認定等の教育は体系化されてきたが、ジェネラリストが期待される役割を遂行できるように、自身が実践能力を自己査定できるシステムを検討する必要が出てきた。看護師のクリニカルラダーは、すべての看護師に共通する看護実践能力の指標の開発と支援、看護実践能力の適切な評価による担保および保障、患者や利用者等への安全で安心な看護ケアの提供を目的に開発した。看護実践能力の核となる力を、ニーズをとらえる力、ケアする力、協働する力、意思決定を支える力の4つで構成し、習熟段階を5段階のレベル設定を行った。医療施設だけでなく、介護施設や訪問看護等においても共通して活用できる看護師の能力の指標となる。このラダーを使用することによって、安心・安全な看護ケアの提供、地域包括ケアシステムを支える看護師育成、看護師個人の看護実践能力の適切な評価による質担保および保障などについての効果が期待できる。講演終了後、個別の相談も受けていただいた。

(7) アンケート結果 169部配布し、162部回収（回収率 95.9%）。

<参加者の背景>

- ① 施設：病院157(96.9%)、診療所1(0.6%)、その他4(2.5%)  
病床規模：500床以上23(14.2%)、300～499床50(30.9%)、100～299床73(45.1%)、20～99床11(6.8%)、病床無3(1.9%)
- ② 職種：看護師156(96.3%)、助産師4(2.5%)、無回答2(1.2%)
- ③ 職位：看護部長15(9.3%)、副看護部長23(14.2%)、師長（科長）78(48.1%)、主任（副師長）25(15.4%)、看護スタッフ7(4.3%)、教育担当者3(1.9%)、その他4(2.5%)、不明7(4.3%)

<参加者の認識>

- ④ 講義内容に興味を持てたか：はい156(96.3%)、いいえ1(0.6%)、無回答5(3.1%)
- ⑤ 看護師のキャリア開発について考えることができたか：はい158(97.5%)、いいえ2(1.2%)、無回答2(1.2%)
- ⑥ 自施設への導入、または活用の参考になったか：はい158(97.5%)、いいえ1(0.6%)、無回答3(1.9%)

(8) 評価

講演会のテーマとして、タイムリーに「看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）」を取り上げたため参加者が多かった。また、短い時間の中でどのように自施設のラダーを評価するのかの具体的方法の説明もあり、日本看護協会のクリニカルラダーの意義について理解を深めることができた。

事後のアンケート結果から、講演内容への興味、看護師のキャリア開発への理解、および自施設への導入・活用への可能性についても肯定的な回答が多かった。また、参加者の90%は管理者で、クリニカルラダーを活用できる、または作成していきたいという声が多数聞かれ、研修のねらいは達成できたと考える。

## 2. 看護師交流会

- (1) 日時 平成28年11月5日（土）10：00～15：30
- (2) 会場 千葉県看護会館
- (3) テーマ 「地域包括ケアシステムにおける地域連携の在り方を考える」
- (4) ねらい

- ① 地域包括ケアシステムにおける医療介護連携について理解する。
- ② 病院から地域（住宅・施設）へスムーズな移行ができるように看護職連携の在り方を考える事ができ、又、自らの課題の解決につなげる事ができる。

(5) 参加者数 92名

(6) 内容

- ① 講演「地域包括ケアシステムを活用した病院と地域における看護職連携の在り方を考える」

講師：東京大学医学部在宅医療学拠点特任研究員

ビュートゾルフ 柏（訪問看護ステーション）代表 吉江 悟氏

東京大学医学部在宅医療拠点創出の取り組み当初から研究員として参画された吉江氏に、柏市における在宅医療推進の取り組みとビュートゾルフ 柏の実践をお話いただいた。柏市における在宅医療推進では、医師が在宅医療に取り組んでくれることと在宅療養者を支える多職種チームが進化していくことを目標に、市役所・各職能団体の体制整備、データ整備、多職種研修、情報共有基盤の構築、市民への啓発、夜間休日の体制検討という6つのことを行っており、それぞれに看護師が中核的な役割を担っている。多職種連携研修ということで、顔の見える関係づくり、仲間意識を育む様々な仕掛け（修了証、懇親会や記念写真など）が大事である。次の段階へ向けては、意見の違いを楽しむ多職種事例検討会、ITによる情報共有システムなども試行されている。

ビュートゾルフはオランダ発祥の新しい組織モデル・ケア提供モデルによる地域看護である。ビュートゾルフとはオランダ語で、ビュートは地域、ゾルフは看護介護を意味する。最高の自律、階層なく、定例のチームミーティングで全員参加で決めていく。2011年に堀田聡子氏により日本に紹介され、ライセンスを取得し、2015年柏や練馬富士見台などで事業をスタートした。既存資源を利用してそこに住む看護師、住民が主導のボトムアップで作りに上げていく。オランダではケアの質管理はアウトカムをモニタリングし、患者満足度及び従業員満足度は高く、また組織にとっての費用対効果もよく、国のケアコストの削減につながっている。『玉ねぎモデル』に基づき、1. (地域住民自身の) セルフケア・セルフマネジメント、2. インフォーマルネットワーク、3. 地域包括ケアステーション、4. フォーマルネットワークを、内から外に向けて、自立支援・QOL向上へ向け、本人、家族、地域や関係機関と協働していく。

吉江氏が関わった東大が推進した在宅医療推進とビュードゾルフは、奇しくも、トップダウンとボトムアップという対照的な取り組みとも言える。

<参考文献>

- ・東京大学高齢社会総合研究機構編. (2014). 地域包括ケアのすすめ. 東京: 東京大学出版会.
- ・吉江悟. (2017). 可能な限り長く住民の生涯に伴走する: ビュートゾルフ柏. 医療と介護NEXT, 3(1), 28-31, 2017 他多数

② グループワーク「地域連携における看護職の役割について」

ペーパーペイシエントとして、介護量の大きな脳卒中後、外来通院の必要な慢性状態、ターミナルのうちから1例について、退院支援の流れに沿って①入院中に在宅へ向けてやるべきこと、②退院時にやるべきこと・伝えるべき情報、③在宅生活を開始して生じること・新たに導入すべきケア、について話し合った。領域Ⅱ(在宅)の看護師にもグループに入ってもらい、具体的な意見交換を行うことができた。

吉江氏には午後のグループワークの発表で講評をいただき、地域により資源の特性が異なり、それを踏まえて対応すること、家族の中で負担がかかっている人へ目を向けるなど助言があった。参加者からは、地域には危機感を持っている専門職やケア提供者などが多いが、病院看護師の考え方が固く、協働がむずかしいなどの意見があった。

(7) アンケート結果 95部配布し、82部回収(回収率 86.3%)。

<参加者の背景>

- ① 施設: 病院77(93.9%)、その他4(4.9%)、不明1(1.2%)
- ② 職位: 看護師39(47.6%)、看護師長17(20.7%)、主任看護師14(17.0%)、その他12(14.6%)

<参加者の認識>

- ③ 講演内容は参考になるか: はい82(100.0%)

【理由】ビュートゾルフ、連携・地域連携、在宅看護の実際、今後の展望、など

- ④ 地域ケアシステムについて理解を深める機会となったか: はい81(98.8%)、無回答1(1.2%)

- ⑤ 地域連携における看護師の役割について理解できたか: はい82(100.0%)

【理由】看護師が地域連携の担い手と再認識など(13)、地域に出ていく必要性など今後の目標(7)、

グループワークでイメージしやすいなど(3)、その他

様々な立場の看護師と話し合い、意見が聞けて良かったという意見が多数あった。

(8) 評価

午前中の講演では、柏市の先進的な地域看護・在宅医療の取り組みを通して、地域看護の実際と今後の展望について理解することができたと、アンケート結果からも評価できる。

また、午後のグループワークでは事例検討を試みたが、満足度も高く、地域看護・在宅医療の実際について理解を深めることにも寄与し、交流会としての目的を達成できたと考える。